

2013
CSR 報告書

私たちの CSR 活動

社会から愛され、存続を望まれる企業を目指して

はじめに

Customer's Customer Success

～お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出する～

私たち、リコージャパン株式会社、リコーテクノシステムズ株式会社、リコー IT ソリューションズ株式会社、リコービジネスエキスパート株式会社、リコープロダクションプリントソリューションズ・ジャパン株式会社の5社は、リコーグループの国内販売関連会社です。販売、サポート、システム構築などの機能別体制でそれぞれが専門性を高めながら、お互いの強みを組み合わせた総合力により、お客様の課題を解決する最適なソリューションを提供しています。

私たちリコーグループは、コーポレートブランドメッセージとして「*imagine. change.*」を展開しています。想像力の結集により変革を生み出すこと、そして未来を見据えてありたい姿を描き、その実現に向けて行動を起こすことで、「お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出する」ことを目指しています。これは、お客様の企業価値の向上を実現し、お客様の発展に貢献することが、私たちの存在価値であると考えているからです。

RICOH
imagine. change.

また、地球・社会の持続的な発展なくして私たちの成長はありません。持続可能な社会づくりに貢献することがリコーグループの「責任」であると考えています。そのために私たちは、環境や社会貢献、コンプライアンスなどのCSR活動に取り組みながら、社会から愛され、信頼される企業づくりを目指しています。

CSR報告書の発行にあたり、これまでは国内販売関連会社5社がそれぞれにCSR活動の考え方や取り組みのご紹介をしておりましたが、本年度は、リコーグループが一体となって取り組んだ活動をご紹介させていただきたいと考え、各社協働でCSR報告書を発行いたしました。

当報告書を通じて、皆様に私たちのCSR活動をご紹介するとともに、皆様から貴重なご意見をいただくコミュニケーションツールの一助となることを願っております。

報告範囲

対象期間：2012年4月～2013年3月

対象会社：リコージャパン株式会社 リコーテクノシステムズ株式会社 リコー IT ソリューションズ株式会社
リコービジネスエキスパート株式会社 リコープロダクションプリントソリューションズ・ジャパン株式会社

発行：2013年12月

会社名の表記について

本書中、会社名を下記の略称で表記する場合があります。

- ・リコージャパン株式会社 : RJ
- ・リコーテクノシステムズ株式会社 : RTS
- ・リコー IT ソリューションズ株式会社 : RITS
- ・リコービジネスエキスパート株式会社 : RBX
- ・リコープロダクションプリントソリューションズ・ジャパン株式会社 : RPPS-J

私たちは、「お客様に安心・満足・感動していただく価値共創パートナーの実現」を目指しています。

目次

はじめに

P 3~P 8

1. リコーグループ国内販売体制の概要
2. 私たちの価値提供領域
3. リコーグループの事業に対する姿勢
4. 価値提供プロセスの概要

リコーグループのCSRの考え方

P 9~P10

1. 企業行動のフレームワーク
2. CSR の対象分野と活動概要
3. リコーグループ CSR 憲章
4. リコーグループの CSR の目指す姿

誠実な企業活動／コンプライアンス

P11~P13

1. コンプライアンスの考え方
 - ・リコーグループの行動規範
2. コンプライアンス浸透のための活動
 - ・CSR-Week セルフチェック
 - ・コンプライアンス教育
 - ・内部通報制度「ほっとライン」
 - ・安全運転の遵守

誠実な企業活動／内部統制・リスクマネジメント

P14

1. 内部統制
2. リスクマネジメント

誠実な企業活動／情報セキュリティ

P15~P16

1. リコーグループの目指す情報セキュリティ
 - ・ISO/IEC27001 認証取得
 - ・情報セキュリティの運用

環境保全

P17~P22

1. リコーグループ地球環境保全の考え方
2. 省エネ・温暖化防止活動
3. 省資源・リサイクル活動
4. 生物多様性保全活動

人間尊重

P23~P28

1. 社員が主体的に活躍できる会社を目指し
2. 社員のモチベーション向上と好事例の水平展開
3. ダイバーシティとワークライフマネジメント
4. ワークスタイル変革へのチャレンジ
5. 人材開発の仕組み

社会貢献

P29~P36

1. リコーグループの一員としての社会貢献
2. 各社・各地で取り組んでいる社会貢献活動
3. 東日本大震災復興支援活動

ご紹介

P37~P42

1. Live Office 「ViCreA」
2. リコー実践プレゼンテーション
3. 国内販売グループ主要事業所一覧



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介



リコーグループ国内販売体制の概要

お客様の **企業価値** を向上し続けること。これが、私たちの使命です。

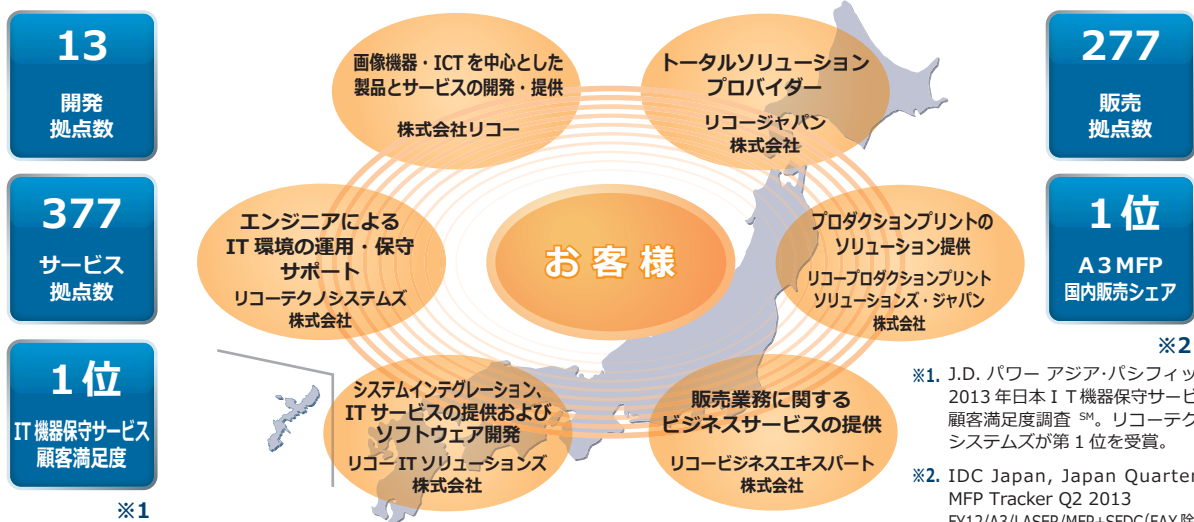


リコーグループは、日本、米州、欧州、アジア・パシフィック・中国の4極体制で、世界約200カ国で事業を展開しています。

日本極の販売統括会社であるリコー・ジャパンを含む国内関連会社5社とメーカーであるリコーが連携し、お客様の経営課題の解決や企業価値向上にお役立ちできるソリューションをご提供しています。

私たちは新しい価値をお客様と共に創り上げ、お客様に安心・満足・感動していただける企業になることを目指しています。

私たちはお客様への価値提供機能を、それぞれの強みを活かして担う、**エキスパート集団**です。



※1. J.D. パワー アジア・パシフィック 2013年日本IT機器保守サービス顧客満足度調査SM。リコーテクノシステムズが第1位を受賞。
 ※2. IDC Japan, Japan Quarterly MFP Tracker Q2 2013 FY12/A3/LASER/MFP+SFDC(FAX除く)

リコー・ジャパン	リコーグループがお客様とともに取り組んだ改善・改革事例や、社内実践で培ってきたノウハウを融合させ、お客様の経営課題の解決、企業価値向上を支援するトータルソリューションをご提供します。
リコーテクノシステムズ	画像機器の保守やIT環境の企画・構築・運用・保守を提供する国内最大級のサービスカンパニーとして、高い技術力と専門性を持つ技術者が24時間・365日のサポート体制でワンストップサービスをご提供します。
リコーITソリューションズ	ソフトウェア開発やシステム構築で培った技術とリコーグループのグローバル経営で得たノウハウを生かし、お客様のワークスタイル改革や、業務プロセス改革を実現するITソリューションをご提供します。
リコービジネスエキスパート	リコーグループ国内販売関連会社の間接業務(販売・仕入業務、サプライ受注、給与業務、総務・厚生業務)を専門的に運営する業務のエキスパート集団として、「企業価値向上」と「効率的な経営」に貢献しています。
リコープロダクションプリントソリューションズ・ジャパン	プロダクションプリントのスペシャリストとして、基幹プリンティングやPOD(プリントオンデマンド)に関するノウハウを高い次元で融合させ、革新的なソリューションをご提供します。

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

私たちは、「お客様に安心・満足・感動していただく価値共創パートナーの実現」を目指しています。

私たちの価値提供領域

ワンストップソリューションで、お客様の **経営課題の解決** を支援します。

リコーグループは充実した販売・サポート＆サービス体制でお客様ごとに適したソリューションを提供しています。お客様の環境やニーズの変化を捉え、強みであるドキュメント領域をベースに、ITサービスやアプリケーション、コミュニケーション、ワークプレイス領域まで価値提供領域を拡げ、お客様の課題解決に役立つ新しい製品やサービスを生み出し、ワンストップで提供しています。

Document

オフィスからプロダクション市場まで、最適なドキュメントワークフローの実現を支援します。

MFP やプリンターを核にしたドキュメントソリューションやマネージド・ドキュメント・サービス、プロダクションプリンティングに関するソリューションなど、ドキュメントのエキスパートとして最適なソリューションをご提供します。



IT Services

お客様のIT部門となることで、お客様は安心してコアビジネスに専念できます。

画像製品のサービス、サポートで培ったノウハウや体制を活かし、お客様のビジネスに欠かすことのできないITインフラの企画から構築、運用管理までをワンストップで提供し、お客様の円滑なビジネスをサポートしています。

Communication

いつでも、どこでも、簡単にコミュニケーションできる環境をご提供しています。

音声コミュニケーション環境の最適化はもちろん、テレビ会議システム、インタラクティブホワイトボードなど、多様なコミュニケーションを実現する製品・サービスの提供や、外出先でも活用できるモバイル（スマートデバイス）環境などをワンストップで提供しています。

リコーが提供するワンストップソリューション

私たちの価値提供領域

Document

お客様の経営課題

- ・ 経営基盤強化
- ・ ワークスタイル変革
- ・ 業務プロセス改革
- ・ 売り上げ拡大

IT Services

Application

Communication

Work Place



Application

お客様の業務プロセスを効率化するためのさまざまなアプリケーションをご提供しています。

業種業務パッケージやグループウェア、各種クラウドサービスの提供に加え、お客様個々のご要望にあわせたシステムインテグレーションを提供するなど、お客様のビジネス変革を支援するITソリューションをご提供しています。



Work Place

経営課題を解決するための、戦略的なオフィスの構築・運用をサポートします。



ワークスタイル変革を実現するための戦略的なオフィスや、LEDの活用による環境に配慮したオフィスなどを構築・運用するワンストップサービスをご提供し、企業価値の向上、競争力の強化に貢献します。

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

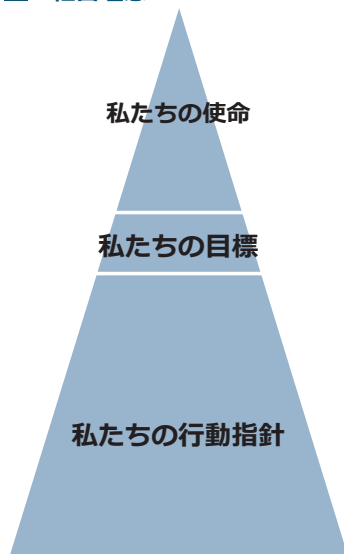
事業活動の基礎 ～リコーウェイ～

「リコーウェイ」とは、グループ内の連携を強固にし、競争力を高め、持続可能な社会の実現に向けた責任を果たすための指針で、リコーグループの事業活動の基礎となる理念・価値観（三愛精神・経営理念）です。経営計画の策定、リコークオリティ活動、CSR 活動などのさまざまな活動は、「リコーウェイ」の考え方に基づいて行われます。

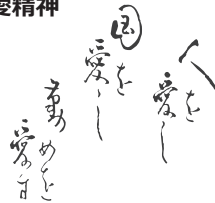
創業の精神

事業活動の目的・事業活動において重視すべき価値観

経営理念



三愛精神



【創業者 市村 清】

- **顧客に対する使命**
人と情報のかかわりの中で、世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、提供し続ける
- **社会に対する使命**
かけがえのない地球を守るとともに、持続可能な社会づくりに責任を果たす
信頼と魅力の世界企業
- **自主創造**
自ら行動し、自ら作り出す
- **お役立ち精神**
相手の立場に立って考え、行動する
- **人間主体の経営**
会社の発展と個人の幸福の一致をはかる
- **地球・社会との共存**
地球・社会の持続的発展に貢献する

お客様
社会

RICOH
Quality

リコー
バリュー

リコー
ウェイ

お客様起点のモノづくり

RICOH Quality

RICOH Quality 宣言

『いつまでも安心・満足、使い続けて感動』

リコーグループは、いつの時代もお客様に信頼され、魅力ある企業グループであり続けたいと考えています。そのために、リコーグループは全ての製品・サービスの提供と価値共創のプロセスを通じて、お客様に、いつまでも安心・満足を感じていただくと共に、使い続けて感動していただく Quality を追求していきます。

リコーグループは、これまで以上にお客様に安心してご利用いただくと共に、期待されている以上の価値を感じていただくことが重要であると考えて RICOH Quality 宣言を発信し、共通の志のもとに、活動を展開していきます。

RICOH Quality 向上への取り組み

- **基本品質を強化するための取り組み**
 - ①法規制遵守の徹底と、社内独自基準による「製品責任（安心・安全）」の追求継続
 - ②多面的な「市場品質情報管理」さらにグローバルでの品質情報管理の強化と、お客様の課題解決を行うソリューション品質保証プロセスの強化
- **お客様感動を創出する取り組み**
お客様の声を聴き、より深く理解して有用な価値を製品・サービスに織り込む活動

お客様起点の
モノづくり

品質・安全性
確保

RICOH Quality の位置づけ

リコーブランドに対する信頼
 - お客様の生み出す価値の増大への貢献 -

『いつまでも安心・満足、使い続けて感動』



<経営理念>

私たちの使命 / 私たちの目標 / 私たちの行動指針

<創業の精神>

三愛精神 (人を愛し、国を愛し、勤めを愛す)

RICOH Quality を実現する価値提供プロセス

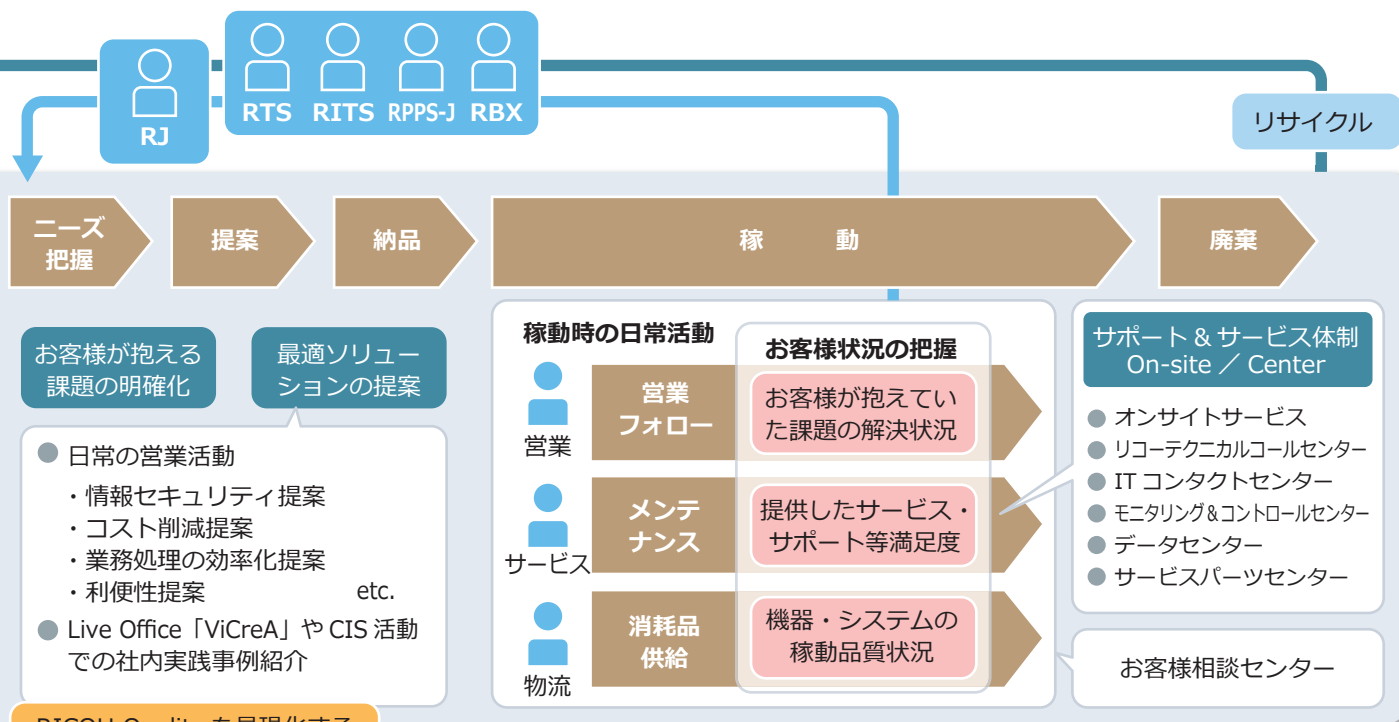
私たちは、リコーウェイに基づき、製品・サービス、その提供プロセス、価値共創プロセスを通じて、リコーバリューを提供することで、お客様価値の創造や増大に貢献し、お客様に「いつまでも安心・満足、使い続けて感動」していただくことを目指していきます。



RICOH Quality を実現する価値提供プロセス (詳細)

最適なソリューションを提案する販売体制

導入後の安心・満足をお届けするサポート＆サービス



RICOH Quality を具現化する、改善活動に反映

※CIS : Customer Innovation Support service

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

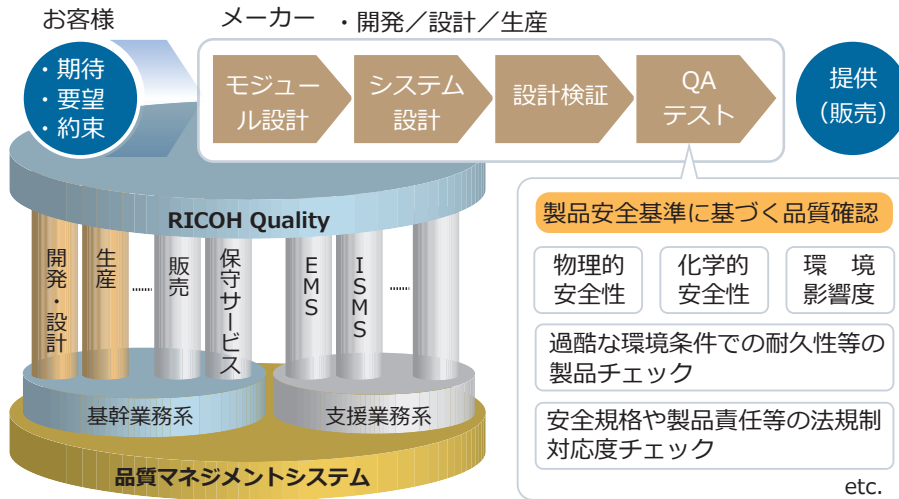
人間尊重

社会貢献

ご紹介

お客様起点のモノづくり

品質・安全性の確保



地球にやさしい商品

- 「地球にやさしい」商品づくりをしています。例えば、RICOH MP C6003 では、次のような特徴があげられます。
 - ①標準消費電力量を低減
 - ②待機電力 1W 未満で立ち上がり時間も短縮
 - ③環境に配慮してマニュアルを電子化
 - ④インフォメーション画面で環境負荷削減につながる情報を表示
 - ⑤植物由来のバイオマスプラスチックを採用
 - ⑥さまざまな環境基準に適合



- プロダクションプリンターで印刷したカタログに関して、原料調達から製造・販売・使用・廃棄までのライフサイクル全体で排出される CO₂ 排出量（換算値）を表示しています。

CO₂「見える化」



1冊あたり
200g
CO₂

CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
<http://www.cfp-japan.jp>
CR-B502-13003

数値は、本カタログのライフサイクル全体のCO₂排出量換算値です。

上のカタログのCFPは、「200g」です。

人にやさしい商品

デジタル複合機をはじめとした商品やサービスは、世界中の国々で、健常者、障がい者、年齢にかかわらず、より多くの方々に使いやすさと便利さを感じていただく、「人にやさしい商品であること」をコンセプトにして商品を開発しています。そういう工夫の数々が私たちの提供する価値の一つです。



片手で軽く引き出せる「つまみ付」トナーボトル



上下どちらからでもつかめるトレイで、かがむ必要なし



誰にでも見やすい色使いやLEDの点灯方法

最適なソリューション

販売体制

お客様接点のリコージャパンを中心に解決を支援する最適なソリューション点網を活かし、地域密着型のワンストップ

ViCreA (ヴィクレア)

ViCreA (Value innovation Creative) のワークスタイル変革へのチャレンジ体感いただく空間「LiveOffice」では、「社内実践事例」のご紹介を通じた価値創造へのお役立ちをさせていた実践した内容だからこそ、成功事例こと、失敗談も含めた生のノウハウを持ってご提供することができると考え

※ViCreAは、'13年11月現在、全国38拠

CIS活動

CIS (Customer Innovation Support) リコーグループのノウハウを基にして、課題を共に解決するサービスです。

私たちは、他社での導入事例等の「ノウハウ」を加えて、自社で「実践」した”変革”共に経営課題を解決できる価値提供「リコー」になることを目指しています。

Value Presentation

Value Presentation では、各地区で取り組んだ社内実践ノウハウのごとく共に実現した数多くの課題解決事例展示会でご紹介しています。

- 1.経営課題を解決した、改革実践者革のヒントとなる事例やノウハウ
- 2.リコーグループが自ら実践してきたトレンドに対応したICTの活用事例
- 3.リコー最新ソリューション・新製品

NetRICOH

NetRICOH とはオンラインショップは機器の活用サポートや、業務効率化インターネットサービスです。「お客と「担当営業」のダブルサポートで、できない細やかな One to One サービス

オンサイトを提案する販売体制

各社が連携し（P3参照）、お客様の課題を提供しています。また、日本国内の拠点対応を実現いたします。

Area) は、私たちの、お客様です。ViCreAして、お客様ができます。自らはもちろんの、お客様に自信を、しています。



service) は、お客様の経営課

ハウ」の提供に、の道”を示し、により、「頼れる

リコーグループ提供と、お客様を、セミナーや



による経営改

たこと、また

で実現できる姿

もとより、リコー提案を含めた総様専用ページ」リコーにしか、スを提供して



導入後の安心・満足をお届けするサポート & サービス

サポート&サービス体制

全国津々浦々まで広くカバーする 377 拠点からの「オンサイトサービス」を始め、「ヘルプデスク」「@Remote」などの各種センターサービスで、お客様が導入されたリコー商品&各社商品、システムを、トータルでサポートします。

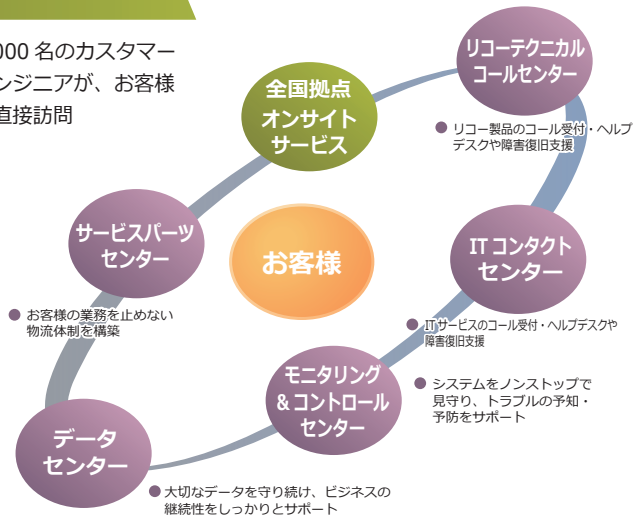
オンサイトサービス



4,000 名のカスタマーエンジニアが、お客様を直接訪問

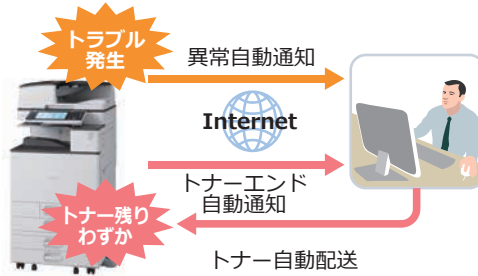
センターサービス

お客様のシステム運用管理やサポートを実施



遠隔サービス@Remote

お客様の出力機器から発信された信号を検知し、トラブルを未然に防止し、ビジネスへの影響を最短に抑えるサービスです。



@Remote 導入状況率



サービス内容

- ①遠隔診断保守サービス
- ②カウンター自動検針サービス
- ③トナー自動配送サービス
- ④ご使用状況サポート

お客様相談センター

「お客様相談センター」では、リコー製品の操作やトラブルに関するお問合せ、製品や販売、サービスに関するご意見・ご要望、また購入前のご相談等を受け付けております。多様化していくお客様からの問い合わせに迅速、的確にお応えできるよう、体制・システム・教育などの改善に取り組んでいます。

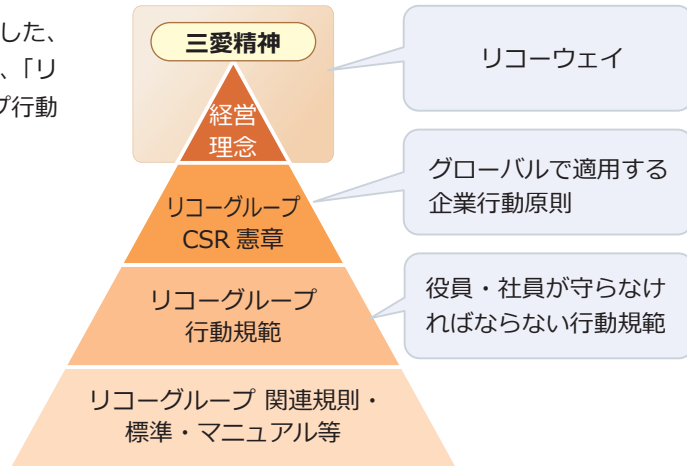
また、お客様から寄せられた声は、製品改善への反映、およびお客様への提案活動につなげることを目指しています。



リコーグループの CSR の考え方

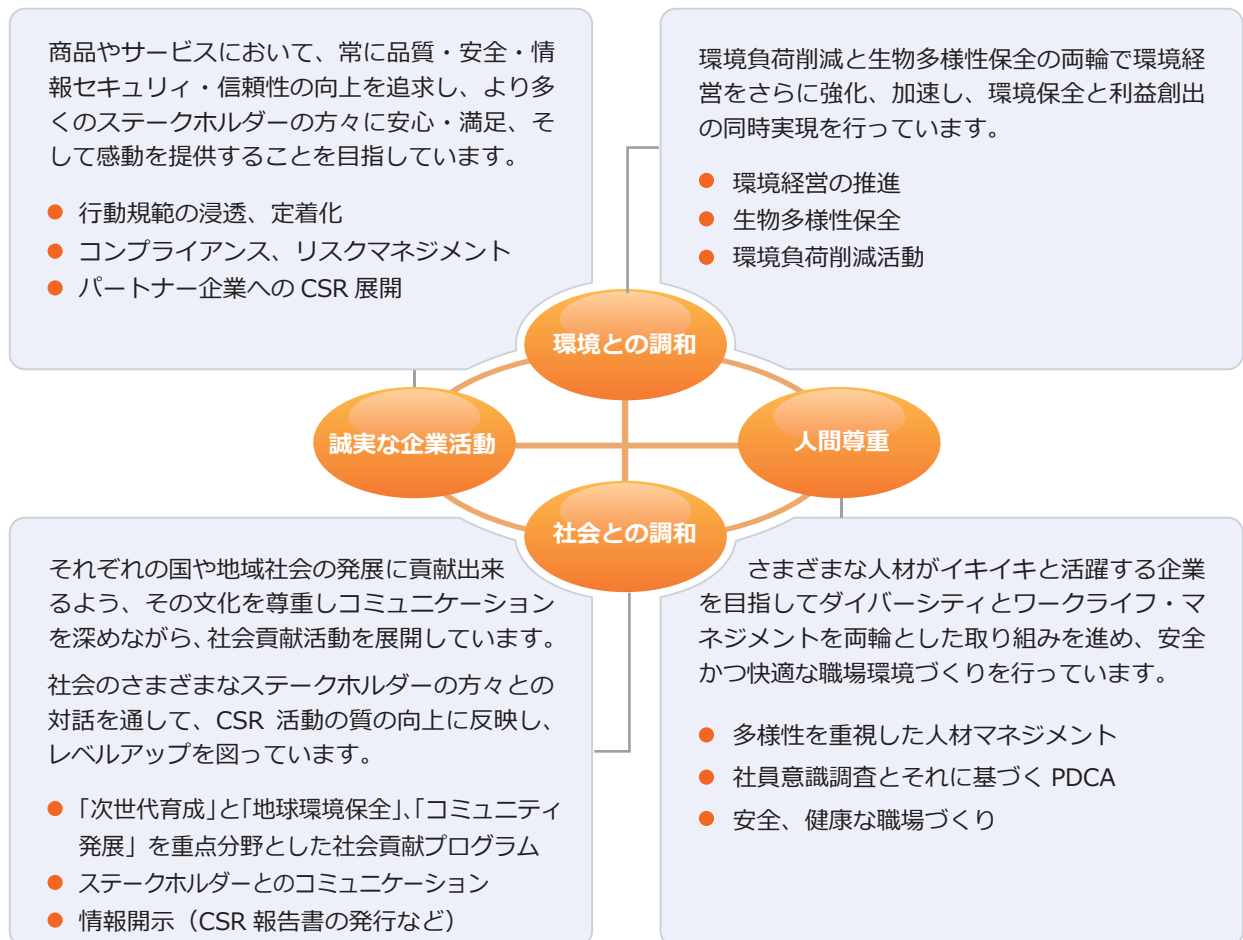
企業行動のフレームワーク

私たちの CSR 活動は、リコーウェイを理念とした、グループ・グローバル共有の行動原則である、「リコーグループ CSR 憲章」と、「リコーグループ行動規範」がベースとなっています。



CSR の対象分野と活動概要

リコーグループでは、CSR の活動領域を「コンプライアンス活動」と、「価値創造 CSR 活動」の 2 つの領域に分け、その両輪を回すことで企業と社会の持続的な発展を目指しています。また、CSR 憲章に則り、4 つの重点分野を中心に、様々な活動に取り組んでいます。



はじめに

CSR の考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

「経済」「社会」「環境」を同軸で捉え、次世代につながる持続可能な社会の実現に貢献していきます。

リコーグループ CSR 憲章

リコーグループは社会から成長・発展を望まれる企業となり、経営のあらゆる側面からグローバルな視点で、「企業の社会に対する責任（CSR）」を果たすために、以下の原則に基づいて、各国の法令、国際ルールおよびその精神を理解し遵守するとともに、社会的良識をもって行動します。

誠実な企業活動

1. リコーグループの各企業は、品質・安全・情報セキュリティ・信頼性を確保し、環境への配慮および使いやすさを追求した、世の中に有用な商品・サービスを、開発し提供する。
2. リコーグループの各企業は、公正、透明、自由な競争を行うとともに、政治、行政、市民、及び団体とは、健全かつ正常な関係を維持する。
3. リコーグループの各企業は、自社の情報およびお客様の情報の適正な管理と保護を徹底する。

環境との調和

4. リコーグループの各企業は、環境保全を地球市民としての責務として受け止め、自主的、かつ積極的に取り組む。
5. リコーグループの各企業は、環境に配慮した技術革新の推進と、環境保全の継続的な活動に 全員参加で取り組む。

人間尊重

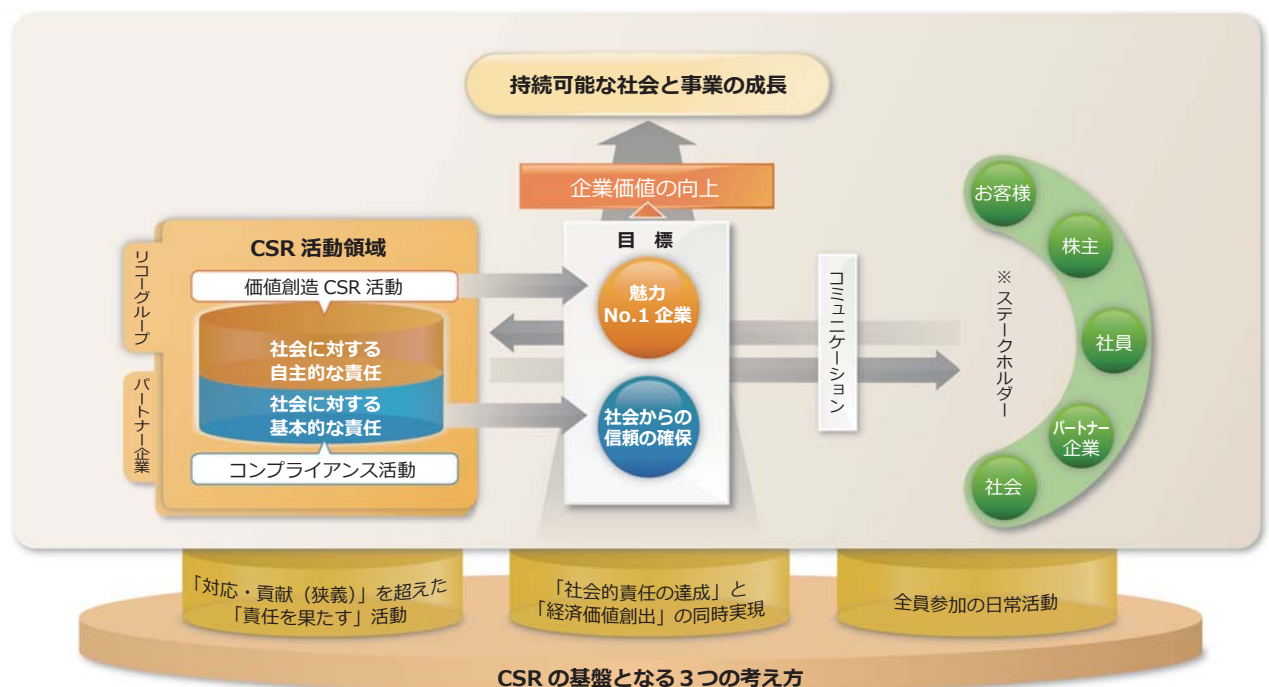
6. リコーグループの各企業は、関係するすべての人々の人権を尊重し、また社内における差別のない明るい職場づくりを目指す。
7. リコーグループの各企業は、リコーグループの企業活動に関わるすべての人々の、安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、すべての社員の、自主性と創造性の発揮できる豊かな個性を尊重する。
8. リコーグループの各企業は、強制労働・児童労働を認めず、人権侵害に加担しない。

社会との調和

9. リコーグループの各企業は、「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
10. リコーグループの各企業は、国または地域の文化や習慣を尊重し、その発展に貢献する経営を行う。
11. リコーグループの各企業は、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的、かつ適切・公正に開示する。

リコーグループのCSRの目指す姿

リコーグループは、「社会から愛され、成長・発展を望まれる企業」を目指して CSR 活動を展開しています。その活動領域は、CSR 憲章の4分野における「社会に対する基本的な責任」と「社会に対する自主的な責任」の2つの領域で、それぞれ、コンプライアンス活動と価値創造 CSR 活動と呼んで展開しています。



※ ステークホルダーとは企業の利害関係者という意味で、株主・社会・お客様・社員等、関係者全てを指します。

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

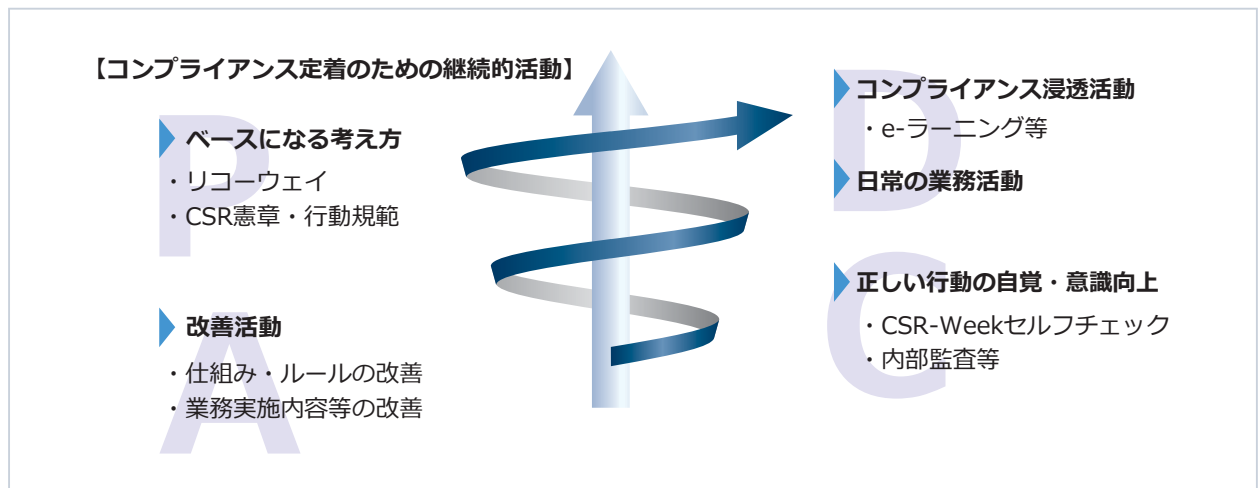
ご紹介

コンプライアンスの考え方

リコーグループでは、コンプライアンスを法令だけではなく、社会的な良識や社内ルールに従って適切に行動することを含めてコンプライアンスと呼んでいます。

企業は利益を追求した活動を行うことを目的のひとつとしていますが、法令に反する行為や、社会的に受け入れられない行為によって利益を得ることは、社会の一員として決して許されることではありません。

私たちは永年かけて蓄積した「信用」を、いつまでも守り続け、高い倫理観を保持していくためにコンプライアンス活動を展開しています。グループ共通の行動規範を定め、コンプライアンスの浸透や、社員意識向上の継続的な活動を実施し、日常の業務活動に定着する風土づくりに取り組んでいます。



リコーグループの行動規範

リコーグループが企業活動を展開していくにあたって、法令を遵守し、社会倫理に従って行動するということはもとより、社会との調和・共存という観点から、リコーグループの役員、および全ての社員が心がけ行動する規範となるのが「リコーグループ行動規範」です。この行動規範をコンプライアンス活動の中核として、信頼される企業を目指し、コンプライアンス確立のため様々な取り組みを実施しています。

誠実な企業活動

- ① お客様の立場に立った商品・サービスの提供
- ② 自由な競争および公正な取引
- ③ インサイダー取引の禁止
- ④ 企業秘密の管理
- ⑤ 接待、贈答などの制限
- ⑥ 公的機関との取引および政治献金の取り扱い
- ⑦ 適正な輸出入管理
- ⑧ 知的財産の保護と活用
- ⑨ 反社会的行為への関与の禁止
- ⑩ 会社の利益と対立するような個人の行為の禁止
- ⑪ 会社資産の保護

環境との調和

- ⑫ 地球環境の尊重

人間尊重

- ⑬ 基本的人権の尊重

社会との調和

- ⑭ 社会貢献活動の実践
- ⑮ 社会との相互理解



【行動規範 携帯冊子】

「リコーグループ行動規範」をいつでも確認出来るように、携帯用の小冊子や、グループウェア（Notes）の電子掲示板を用意しています。さらに年1回、eラーニングを用いて、リコーグループ行動規範の振り返りを行い、改めて役員、及び全社員が「誓約書」に署名して、代表者に提出しています。

コンプライアンス浸透のための活動

CSR-Week セルフチェック

CSR-Week セルフチェックは、全社員が毎月 1 回月初に行うセルフチェック活動です。社会的問題になっている飲酒運転やモラル欠如問題に加え、お客様相談室に寄せられた声や、社内での問題を題材に、自分自身の言動を振り返り、正しい行動を自覚する取り組みです。

- 目的：・企業倫理を含む CSR の継続研鑽を通じて、経営品質の向上に資する。
 ・社会の一員として、法令・ルール・マナーを順守できる人材育成と組織風土を醸成する。
- 特徴：・幹部・一般社員・派遣社員も含め、全社員が毎月月初に実施。
 ・正しい理解のために、組織マネジメントを実施。



【コンプライアンス】についてセルフチェックをお願いします。

リコーグループでは『コンプライアンス』を、法令だけでなく、社会的な良識や社内ルールに従って適切に行動することを含めて、『コンプライアンス』と呼びます。つまり、一般的な意味より広い考え方を指しています。日本OSでは以下の基本行動規範を定め、従業者の遵守・実践を求めています。

1. 法令、会社の規則、業務ルールに反する行為は行いません。
 2. 談合等、取引や入札の公正を害する行為は行いません。
 3. 他人の著作物の違法な複製、改変行為等を行いません。
 4. 取引先に対して、倫理に反する言動は行いません。虚言・偽言は行いません。
- [A] 行動規範をよく理解しており、今後も遵守・実践をしていきたい。
 ○ [B] 行動規範があるのは知っているが、今後も項目全てを遵守・実践するつもりはない。

【セルフチェック内容】

- ・法令順守
- ・リコーグループ行動規範
- ・情報セキュリティ
- ・環境保全
- ・社内ルール・マナー等
(毎月 15 問程度)

コンプライアンス教育

行動規範やコンプライアンスについて、それぞれの立場に応じたさまざまなコンプライアンス教育を実施して意識の向上を図っています。インターネットからでもアクセスできる利便性の高い環境を準備し、映像や音声を取り入れた学習効果の高いコンテンツが提供され、全社員が自分のスケジュールに合わせて学習しています。

コンプライアンス教育プログラム

- 行動規範教育
- コンプライアンス 基礎編
- コンプライアンス マネジメント編
- 知らなかったでは済まされないインサイダー取引



e-ラーニングは、大きくは全社員受講必須と選択性のプログラムを準備しています。必須のものは、期限までに対象者が受講完了するよう、受講状況が確認できる教育推進者用メニューを活用しています。

「行動規範教育」の e-ラーニング画面紹介

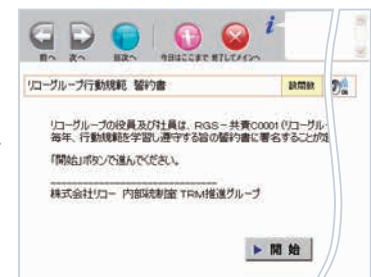
1 e-ラーニングスタート画面



2 本編学習中



3 最後に行動規範遵守を誓約



内部通報制度「ほっとライン」

リコーグループ共通では「リコーグループほっとライン」(㈱リコー内部統制室、社外(専用受付会社))があり、さらに以下の4社ではこれに加えて自社専用のほっとラインを開設し、社員から相談・通報ができるような仕組みを整えています。リコーグループ行動規範に違反する、または違反する恐れのある行為が行なわれていることを知ったときは、「ほっとライン」を通じて、相談・通報するようになっています。

各社の「ほっとライン」窓口

RJ	リコージャパンほっとライン (RJ 人事部門)
RTS	社員相談窓口 (RTS 人材統括センター 人事労務部)
RITS	相談・苦情窓口 (RITS 人事部、内部統制室)
RBX	RBX 社内相談窓口 (RBX 管理部 人事総務 G)



「安全運転」の遵守

事業所における日常活動上、地域住民の方々に迷惑をかけない基本中の基本は、「交通ルール・交通マナー」を遵守するということです。交通違反はもとより、乱暴な運転やマナー違反は、会社の信用を失墜させるということを肝に銘じ、「安全運転」の遵守に取り組んでいます。特に、RTS では“4ゼロ”に挑戦しており、専門組織を設置し、“4つの視点”(安全・社会性・運転者教育・ロ・コスト)で、「安全運転教育」「エコドライブ推進」「事故再発防止講習会」「同乗指導」「検車と車両 5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)の徹底」等の多岐にわたる安全運転遵守活動を展開しています。これらの取り組みの結果、国内のIT企業の事故発生率は4%~5%ですが、RTSは2.2%という結果です。ちなみに、最も事故率の低い業界は運送業界で、約2%を維持しています。

年間事故率2.2%

1. Safety

安全

社員の安全確保
過失事故ゼロへの挑戦

Policy

“4ゼロ”への挑戦

人身事故ゼロ
有過失事故ゼロ
道交法違反ゼロ
マナークレームゼロ

Safety First!!
マナーアップ宣言車

理光 太郎

マナー交通違反ゼロ

2. Social

社会市民の義務

道路交通法厳守
エコドライブの推進

4つの視点

事故再発防止活動

3. Education

教育

事故者講習会
警察署講習会

警察の方をお招きして、安全運転講習を実施しています。

任意保険割引率

年	割引率 (%)
'09	68
'10	73
'11	80
'12年	80

任意保険優良割引率 80%

4. Low Cost

経費削減

人身事故ゼロへの挑戦

内部統制

リコーグループは、「リコーウェイ」に込められた価値観に立脚して、企業倫理と遵法の精神に基づき、経営の透明性を確保しつつ、競争力の強化を目指した内部統制システムを整備・運用し、その継続的な改善に努めています。活動の指針として「リコーグループ経営管理基本原則」を制定し、その中の「内部統制原則」に沿って活動を展開しています。リコーグループとして遵守すべき共通の規則については、グループ標準「リコーグループスタンダード（RGS）」として制定し、グループ全体で遵守するよう推進しています。また、国内販売グループ特有の活動についての遵守事項は、「国内販売グループスタンダード」として制定し、遵守するよう推進しています。さらに財務報告の信頼性の確保、業務の有効性と効率性の向上、企業活動に関連する法令・社内ルール等の遵守の確認などを目的として内部監査を実施しています。



リスクマネジメント

トータルリスクマネジメント

リコー国内販売グループとして「リコーグループ経営管理基本原則」に定めた「リスクマネジメント原則」に基づきリスク主管区を設定し、リスク管理を徹底しています。

主なリスク

企業活動に重大な悪影響を及ぼす事件・事故の未然防止および万一事件・事故が発生した場合においては被害の極小化と速やかな回復をはかるため、右のようなリスクに加えて販売会社特有のリスクに関する重要情報に対して経営層に報告し、共有しています。

自然災害、重大事故、重要品質問題、個人情報・企業秘密漏洩、贈収賄行為、環境法令違反、輸出入関連法違反、人権問題、業務上の不正行為 など



インシデント発生時の対応

インシデント発生時に迅速かつ的確に対応できるように、インシデントごとの「報告レベル（インシデントの緊急度）」と「インシデントレベル（重要度）」を基にした、エスカレーション（情報伝達）ルールと初動体制召集ルールを定めています。また、その実効性を高めるための緊急連絡網を作成し、徹底を図っています。

インシデント発生時は、発生元責任者より報告責任者を通じ、TRM 担当役員に一報。TRM 担当役員は、「報告レベル」および「インシデントレベルの重要度」を判定し、最高経営責任者へ報告する仕組みとしています。また報告責任者は、インシデントレベルによる所定の「初動召集メンバー」を速やかに召集することとしています。

【インシデント発生時の報告ルート】

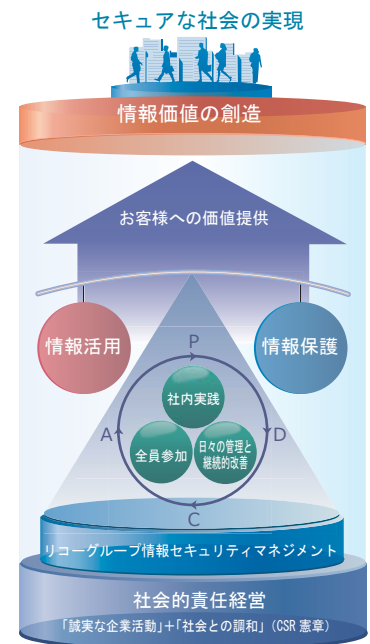


リコーグループの目指す情報セキュリティ

情報分野を事業領域とするリコーグループにとって、情報セキュリティは不可欠の要素と認識しています。そのため、情報セキュリティへの取り組みを全員参加の活動と位置付け、現場・第一線での日々の管理と継続的改善を進めるとともに、それらを基盤としてお客様への価値提供を目指した自社製品・サービスの積極的な社内活用を実践しています。こうした情報セキュリティ活動は、リコーグループ CSR 憲章にある「誠実な企業活動」と「社会との調和」の実践を目指すものです。

活動のベースとなる3つの考え方

- | | |
|---------------|---|
| ① 全員参加 | 役員から一般社員はもとより、協力会社など、パートナーの方々を含む全従業員で取り組む。 |
| ② 日々の管理と継続的改善 | 各層のマネジメントレベルで PDCA のサイクルを回して、継続的改善に取り組む。 |
| ③ 社内実践 | 自社の情報セキュリティ商品・ソリューションを、自らの情報セキュリティレベル向上に役立てながら、その有用性を確認し、上手な使い方のノウハウ蓄積や製品・サービスの改良に取り組む。 |



ISO/IEC27001 認証取得

リコーグループは 2004 年 12 月に「BS7799:PART2:2002」「ISMS 認証基準 Ver.2.0」の統一認証を同時取得いたしました。2007 年 3 月に「ISO/IEC 27001」に移行登録を完了し、2007 年 12 月と 2010 年 12 月に更新審査（3 年毎）を受け認証を継続しています。



IS 85241 / ISO(JIS Q)27001
【ISO27001 認証ロゴマーク】

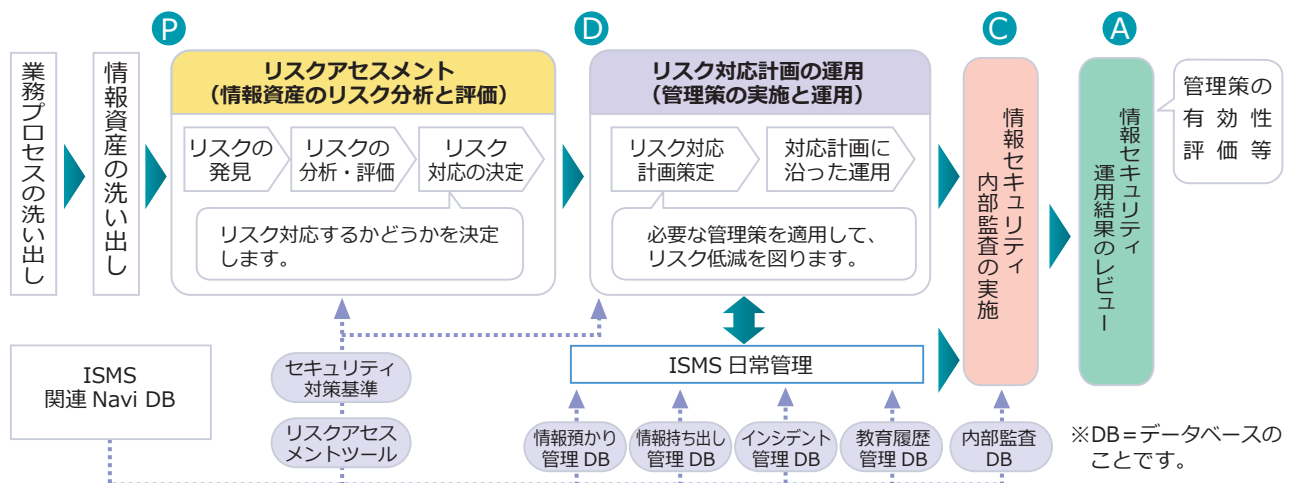
※リコーグループでの認証取得範囲は、次の URL をご参照ください。

<http://www.bsigroup.jp/assessmentandcertification/managementsystem/standardsschemes/iso27001/ricoh/>

情報セキュリティの運用

ISMSの運用イメージ

情報セキュリティの基本方針に則って、ISMSの運用プロセスを確立しています。全体の運用イメージは下図の通りです。これらの運用は年間サイクルで PDCA を回しており、その殆どで ISMS 関連 DB を活用しています。



情報セキュリティ教育

情報セキュリティ対策には、社員一人ひとりが情報活用にとまらぬリスクを認識して、自分の仕事を改善していく必要があります。そこで「情報セキュリティ教育」に力を入れ、全社員の意識とスキルを高めています。



【情報セキュリティe - ラーニング】



【ISMSハンドブック】

内部監査とマネジメントレビューの実施

内部監査は ISMS の適合性や有効性を確認するため、定期的を実施しています。リスクアセスメント結果や、教育、日常ルールなど、セキュリティにおける強み弱みを明確にし、監査結果に対して是正・改善することで、リスク低減とセキュリティレベルの向上を図っています。

各社の内部監査は ISMS の専門教育を受けた監査員が被監査組織と同じ目線に立ち、共に考え新たな「気づき」を発見・共有する場となるようにしています。

一年間の ISMS 活動における重要な情報はマネジメントレビューとして経営陣に報告します。また、トップからの ISMS 方針を受け、翌年度の施策を展開しています。

目的=ISMSの適合性・有効性確認



「気づき」の監査による効果

- ・ 潜在的リスクの炙り出し
- ・ 新たなセキュリティホールを発見
- ・ 業績向上に対する寄与

情報セキュリティ管理策の実践事例

事件・事故（インシデント）により損害が発生することを防ぐため、さまざまな管理策を策定実施しています。日常業務での、身近な管理策の事例をご紹介します。

1 お客様情報預かりルール

- ・ お客様情報はお預かりしないことを前提としていますが、業務上やむを得ずお預かりするときは、下のフローで運用しています。



【情報預かりの運用フロー】

2 メール送信のとき

- ・ 誤送信防止のため、メールアドレスは個人アドレス帳に登録して使用する。
- ・ 送信前に宛先確認の習慣をつける。
- ・ 重要な添付ファイルはパスワードでロックする。
- ・ 面識のない人を宛先に含む一斉同報メールは、同報メール専用のシステムを使用する。

3 情報資産の持ち出し

- ・ パソコンや USB メモリなどの情報端末を社外に持ち出す場合は、事前に持出申請して確認を受けています。



管理策は....

- ・ ウィルスチェック
- ・ BIOS、HDD パスワード
- ・ 媒体は体から離さない

4 iPadの利用ルール

- ・ 不要な企業秘密のデータを保存しない。
- ・ 移動中は体から離さない。
- ・ 電車の網棚や足元等に置かない。
- ・ 車の中に放置しない。
- ・ 飲酒予定のある際は、一旦事務所に持ち帰るなどして、携行しない。
- ・ 会社の定めたクラウド以外利用禁止。



※iPad は Apple Inc. の商標です。

インシデントに対する取り組み

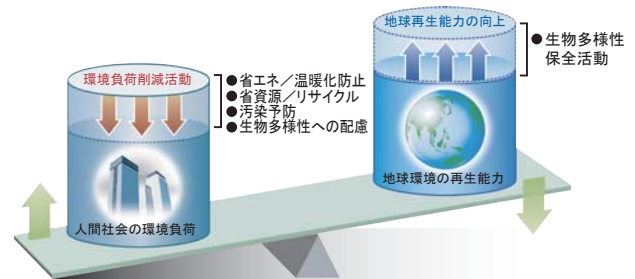
事件・事故（インシデント）が発生した場合、速やかに上司に報告し、お客様への対応を図ります。また、対応結果報告と再発防止策を DB に登録する仕組みになっており、放置するとインシデントに繋がる事象・弱点も積極的に報告します。情報を共有することでルールの徹底をはかりながら、インシデントの未然防止に役立っています。

インシデント対応ルール

- ・ 直ちに上司に報告・お客様への対応
- ・ 重要度レベルの判定
- ・ DBへの登録（報告）
- ・ 原因の究明と再発防止策の決定

リコーグループ地球環境保全の考え方

リコーグループでは環境綱領に基づき、環境保全活動と経営活動を同軸であると捉え、地球市民の使命として、自らの責任で地球環境保全に取り組んでいます。環境負荷を削減するだけでなく、地球環境の回復力を維持し、高めていくことで地球環境の保全に貢献します。



リコーグループ環境綱領

- 基本方針** リコーグループは、環境保全は我々地球市民に課せられた使命と認識するのみならず、環境保全活動と経営活動を同軸であるにとらえ、自ら責任を持ち、全グループをあげてその活動に取り組む。
- 行動指針**
- 1. 高い目標** 法規制の遵守はもとより、自らの責任において、社会の期待を先取りした高い目標を設定し、その実現を通じて経済価値の創出に努めていく。
 - 2. 環境技術開発** 顧客価値を創造し、広く社会にも活用される革新的な環境技術開発をすすめていく。
 - 3. 全員参加の活動** すべての事業活動において環境への影響を把握し、全員参加で汚染予防や、エネルギーおよび資源の有効利用について継続的改善を行っていく。
 - 4. プロダクト・ライフサイクル** 商品とサービスの提供にあたっては、調達・生産から販売・物流・使用・リサイクル・廃棄に至るすべての段階における環境負荷の低減に努めていく。
 - 5. 意識向上** 一人ひとりが広く社会に目を向け、積極的な学習を通して意識向上を図り、自ら責任を持って環境保全活動を進めていく。
 - 6. 社会貢献** 環境保全活動への参画・支援によって、持続可能な社会の実現に貢献していく。
 - 7. コミュニケーション** ステークホルダーと連携した環境保全活動を展開し、積極的なコミュニケーションを通して社会の信頼を得る。

ISO 14001 認証取得

リコーグループでは、2001年にISO14001を取得し、全員参加による環境活動を進めています。活動の柱となるのが環境マネジメントシステムで、経営と環境活動を一体化し、事業活動の中に環境行動計画を取り込み活動しています。今後も環境負荷低減に向け、組織的・継続的に取り組んでいきます。



[JQA-E-70001]

2012年度の主な環境行動計画とその結果

環境行動計画	目 標	2012年度実績	前年実績
国内販売・保守活動のエネルギー起源 CO ₂ 排出量の削減	2009年度対比 3%削減	21%削減	12.8%削減
製品再使用量の拡大	再生複写機販売台数目標の達成率 100%	107%	112%
個別製品群毎の回収率の向上	使用済複合機本体回収率 94.0% 使用済トナーカートリッジ回収率 69.0% 使用済パーツ回収率 100%	90.4% 66.1% 100%	97.2% 65.7% 100%
生物多様性保全を目的とする社会貢献活動の実施	45件以上/年度	302件	356件

事業活動の環境負荷を、自然環境が許容できる範囲に近づけることを目指して、環境保全活動を展開しています。

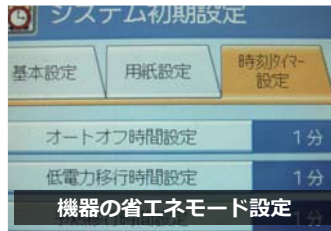
省エネ・温暖化防止活動

社員一人ひとりが意識し、オフィスでの節電対策の実施や、営業活動でのエネルギー使用量削減といった、環境負荷の低減に取り組んでいます。特に、東日本大震災以降に重点として取り組んでいる事業所での節電・省エネ活動と、営業車両の削減、軽車両化、カーシェアリングによるガソリン使用量の低減活動に力を入れています。また、事業拠点の最適配置・事業運営コスト削減の視点での事業所統廃合も進め、これもエネルギー削減に寄与しています。

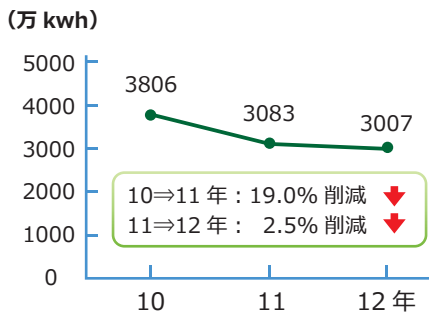
節電への取り組み

主な節電対策

- ・夏季一斉休暇の取得
- ・クールビズ・ウォームビズの実施
- ・消費電力の見える化システム（電力測定器導入）
- ・サーバー仮想化
- ・オフィス空調室温調整（夏季目安：28℃、冬季目安：20℃）
- ・オフィス内照明の間引き、不要な照明・広告塔の消灯
- ・OA 機器の必要最小限の稼働と、OA 機器／PC 省エネモード設定
- ・定時退社の推進（照明、OA 機器／PC 電源 ON 時間の設定）



取り組みの結果 【電力使用量推移】



ガソリン使用量削減

電動機付き自転車や低燃費車の積極的な導入

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生を削減するため、大都市圏では、電動機付き自転車を導入しています。また、環境省発表の「低公害車開発普及アクションプラン」に基づいた低公害車の導入、車両入れ替え時の小型化（小型自動車→軽自動車）を積極的に推進しています。

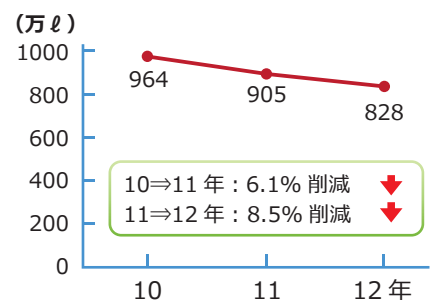


営業車両のエコドライブ徹底

- ① ふんわりアクセル
- ② 加減速の少ない運転
- ③ 早めのアクセルオフ
- ④ エアコン使用を控えめに
- ⑤ アイドリングストップ
- ⑥ 暖機運転は適切に
- ⑦ 道路交通情報の活用
- ⑧ タイヤ空気圧のこまめなチェック
- ⑨ 不要な荷物は積まない
- ⑩ 違法駐車はしない



取り組みの結果 【ガソリン使用量推移】



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

省資源・リサイクル活動

会議はペーパーレスで！

リコーグループでは、テレビ会議システムやプロジェクターを利用した会議・打ち合わせを頻繁に行っています。狙いは、会議の生産性向上（移動時間削減・交通費削減）と紙資源の消費削減です。また、ペーパーレス会議は、紙資源の無駄使いをなくすだけでなく、画面に参加者全員の視線を集中させることができますので、話題の共有化がしやすく、議事の進行がスムーズに行くという効果もあります。



ユニファイドコミュニケーションシステム
映像と音声、そしてドキュメント、テキスト、手書き入力などの多様な情報を統合（Unified）してコミュニケーションできる、UCSシステムを活用しています。



世界銀行年次総会のペーパーレス会議を支援

社内の省資源活動ではありませんが、'12年10月9日から14日まで、東京で開催された国際通貨基金・世界銀行年次総会（IMF・世銀総会）では、リコーソリューションサービスであるペーパーレス会議・プレゼンテーションソフトウェア「RICOH Smart Presenter」を提供し、効率を追求したペーパーレス会議運営を支援しました。紙の消費を少しでも抑えることで、省資源化の社会に少しでも貢献できればと思います。



営業のワークスタイル変革による副次効果

タブレット端末活用によるワークスタイルの変革（詳細は 26 ページ）は、狙い通り営業の生産性を向上するという効果を得ることができました。これに加えて、コンテンツを電子化することで、デモ機の輸送に掛かる環境負荷を軽減し、お客様にインパクトのある効果的なプレゼンテーションができるようになりました。更に、紙カタログの消費量を削減し、省資源化することもできました。

営業活動で活用している私たちの「ツール」

Secured Docs

電子カタログ

Risonator

リコージャパンがお手伝いできる6つのこと。

- 経費削減
- 業務効率化
- セキュリティ強化
- 環境対応
- 事業継続計画
- 顧客満足度向上

Ricoh Solution Navigator

お客様と対話をしながら、課題を顕在化させたり解決策にたどりつける、いわゆる、課題解決ナビゲーションが「Risonator」です。
<MCPC アワード 2012 奨励賞 受賞！>

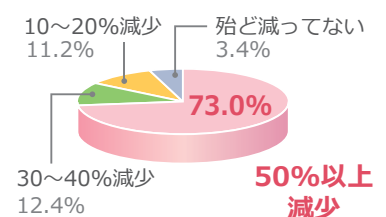
CLOMO SecuredDocs

お客様のお困りごとや課題に応じた、動画、提案書等、さまざまなコンテンツを準備しています。いわゆる、「電子キャビネット」です。

電子カタログ

製品の電子カタログです。PDF ファイルにページリンク機能を設定することで、興味・関心のあるページにすばやくアクセスできます。

紙カタログの使用頻度は？



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

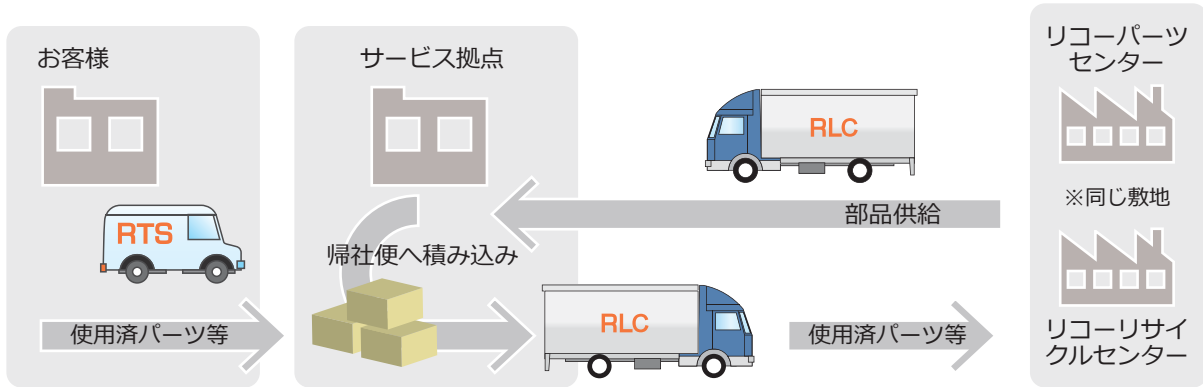
事業活動の環境負荷を、自然環境が許容できる範囲に近づけることを目指して、環境保全活動を展開しています。

製品・部品回収とリサイクル

リコーグループでは、環境負荷を少しでも低減するために、省資源・リサイクル活動を推進しています。グループ全体の仕組みで運用しているのは、お客様の使用済み製品（コピー機・プリンター・トナーカートリッジなど）の回収とリサイクル、及びリユース部品を使用したリコンディショニング機（再生機）の販売です。各社・各事業所では、ごみになるものを持ち込まないことを基本に、どうしても排出されるものについては、再資源化・リサイクル化を推進し、ごみの減量に取り組んでいます。

使用製品・部品の回収とリサイクルシステム

私たちはリサイクルの促進を図るため、保守サービス時に発生する交換済みパーツの回収リサイクルシステムを導入しています。このシステムは、部品回収のための配車は行わず、リコーロジスティクス（RLC）が運用している部品配送後の帰社便に、日本全国のサービス拠点から回収されたパーツを積み込み、メーカーが運用しているリサイクル拠点に運送するものです。



リコンディショニング機（再生機）の販売

私たちは、販売活動においても省資源・リサイクルを推進しています。環境配慮型製品のご提案の中で、官公庁、民間とも、再生機をご検討いただけるお客様が増えています。

リコンディショニング機では、リユース部品使用率 80%（質量率）、製造時の CO₂ 排出量 93% 削減（新造機との比較）を実現し、環境負荷を大きく低減しています。



お客様の環境負荷低減

自社の事業活動による環境負荷だけでなく、リコー製品使用時に発生する環境負荷についても、お客様と共に削減していかなければならないと考えています。製品使用時の環境負荷の、「見える化」を通じた提案活動により、お客様先で、お客様の環境負荷削減を支援する販売活動を展開しています。

お客様の活動	お客様のニーズ	製品サービスと貢献内容
選ぶとき	環境にやさしい製品を購入したい	<ul style="list-style-type: none"> リコンディショニング機、省エネ機器販売 国内工場でのキittingによる梱包材等の削減 植物由来のバイオマストナー使用による石油資源枯渇への対応
	消費電力や紙の使用実績を一括管理したい	<ul style="list-style-type: none"> @Remote ご使用状況報告書サービスによる CO₂ の見える化
使うとき	紙の使用量を減らしたい	<ul style="list-style-type: none"> 両面機能 /Scan to Email & Folder/ ペーパーレス FAX による紙削減 デジタルオンデマンド印刷による印刷物の在庫削減
	消費電力を減らしたい	<ul style="list-style-type: none"> 省エネモードの活用
戻すとき	使用済み製品をリサイクルしたい	<ul style="list-style-type: none"> トナーボトル/インクカートリッジ/使用済み製品・部品の回収による資源の有効利用



生物多様性保全活動

人間社会は生物の多様性がもたらす恩恵を享受する一方で、社会からの排出物が、地球の再生能力をはるかに超える環境負荷をかけ、このままでは人間社会の存続が危ぶまれています。私たちは一刻も早く、この環境負荷を削減していかねばならないという認識のもと、2009年3月に制定された、「リコーグループ生物多様性方針」に基づき、さまざまな「生物多様性保全活動」を展開しています。また会社も活動支援の一環として、交通費やボランティア保険の費用を負担することで、環境ボランティア活動を支援しています。

リコーグループ生物多様性方針

社会は豊かな地球環境によって生まれ、その地球環境を支えている多様な生き物の営みが衰えつつあるという認識のもとに生物多様性方針を掲げる。

- 基本方針** 私達は生き物の営みによる恩恵を得、生物多様性に影響を与えながら事業活動を行っているという事実を踏まえ、生物多様性への影響を削減するとともに、生物多様性保全に貢献する活動を積極的に行う。
- 1.経営の課題** 生物多様性保全を企業存続のための重要課題のひとつと捉え、環境経営に組み込む。
 - 2.影響の把握と削減** 原材料調達を含む事業活動全体における生物多様性への影響の評価把握、分析、数値目標化を行い、その影響の継続的な削減に努める。
 - 3.進め方** 生物多様性と事業の視点により、影響・効果の高い施策から優先して取り組む。
 - 4.技術開発の促進** 持続可能な社会の実現を目指して、生物資源を利用する技術開発、生態系の仕組みや生物の成り立ちに学び、その知恵をいかした技術開発・生産プロセス革新を推進する。
 - 5.地域との連携** 世界に残る貴重な生態系と、事業を行う国・地域の生物多様性を保全する活動を、行政機関のみならず、地域住民、NGO*などステークホルダーとともに、持続可能な発展の視点をもって推進する。
 - 6.全員参加の活動** 経営者の率先した行動と全社的な啓発施策により、すべての社員の生物多様性への理解と認識を高め、自主的な保全活動につなげる。
 - 7.環の拡大** お客様、仕入先様、他の企業、NGO*、国際組織などと連携した活動により、生物多様性についての情報・知見・経験を共有し、生物多様性保全活動の環を広げる。
 - 8.コミュニケーション** 自らの活動、成果の具体的内容を積極的に開示することにより、社会の生物多様性保全活動の気運向上に貢献する。

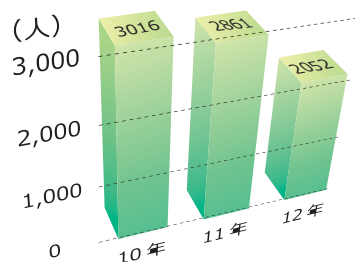
※NGO* = Non Governmental Organization(非政府組織)

活動実績

ここ3年で見ますと、販売グループ全体の参加人数は減少傾向で、特に12年度は2,052人の参加に終わりました。

リコーグループ全体で取り組んでいるこの活動は、地球環境負荷の削減に有効な取り組みと認識しています。現在の活動状況などの棚卸しを行い、もっと社員が参加しやすい企画を立てたりすることで、皆さんへの参加を呼びかけていきたいと思っております。

参加者（家族・OB含む）推移



鳥取 鳥取砂丘一斉清掃



合同



佐賀 どんぐりこへの森保全



合同



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

地球環境を支えている多様な生き物の営みが衰えつつあるという認識のもと、生物多様性保全活動に取り組んでいます。



次の世代へ



石川 ▶ クリーンビーチいしかわ



RJ

山形 ▶ 白神山地ぶな植樹



合同

北海道 ▶ ゴールデンビーチちるもい



合同

広島 ▶ ホタルの里づくり



RTS

静岡 ▶ 静岡市大浜海岸



RTS

群馬 ▶ 前橋市嶺公園森林保全



RJ

三重 ▶ 四日市ウミガメ保存会



RJ

千葉 ▶ ふれあいの森里山保全



合同

高知 ▶ 南喜ヶ峰森林公園保全



RJ

兵庫 ▶ こうべの森の学校



RJ

東京 ▶ 東京ベイ・クリーンアップ大作戦



RBX

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介



社員が主体的に活躍できる会社を目指し

私たちはリコーグループの一員として、事業活動をはじめ、社会に対する基本的責任と自主的責任を果たすために様々な CSR 活動を展開していますが、これらの活動は、すべて社員あってのことです。そこで、社員が目的意識・問題意識を持って、主体的に活躍できる「人材」に成長できるよう、人間尊重を前提とした、「人づくり」「職場づくり」を展開しています。

人材マネジメントの基本方針

リコーグループは、“社員が目的意識・問題意識をもって主体的に活躍できる人材に成長できるよう、次の基本方針を掲げて、人材マネジメントを展開しています。

- ① イノベーションを自ら促進し、チームメンバーの能力を最大限に発揮させることのできるリーダーを創出する企業文化を育む。
- ② 国籍、性別、年齢、民族、宗教、障がいなどに関係なく、全ての社員に平等な機会を提供することにより、会社の発展と個人の成長の一致をはかる。
- ③ 適材適所の人材配置により、事業の成果を最大化する。

具体的には、次の4項目の実現を目指した人材マネジメントを展開しています。

私たちが取り組んでいる人材マネジメント

1. 社員の主体性を引き出す取り組み	積極的にチャレンジする仕組み	・ 目標面談評価制度・自己申告制度
2. 成果に基づいた評価・処遇の実施		・ 社内公募制度・評価・表彰・処遇制度
3. 働きやすい環境づくり	ワークライフマネジメント	・ 仕事と家庭の両立支援・労働時間管理 ・ 健康管理と労働安全衛生・休暇制度
4. 専門性を高め、それを発揮できる環境づくり	人材開発	・ 職種別専門教育等の Off-JT と OJT ・ 自己啓発の仕組み・e-ラーニング

積極的にチャレンジする仕組み

社員の主体性を引き出し、キャリアデザインをサポートする制度に加え、それぞれの仕事の評価を正しく行い、社員のモチベーション向上に繋がる評価制度や表彰制度を確立し、働きがいのある仕事環境づくりを整えています。

- 目標面談評価制度** この制度は、①組織目標と個人目標の統合 ②役割に沿った評価指標により評価の公平性向上 ③上司と部下のコミュニケーションの充実による評価の納得性向上を狙いとした制度で、6ヶ月単位でのマネジメントサイクルで運用しています。
- 自己申告制度** この制度は、異動に関する希望、上司に知っておいてほしいこと、会社（人事）に知っておいてほしいこと等を社員が申告し、育成や配置の参考にするものです。
- 社内公募制度** この制度は、社員のチャレンジ精神をベースに、戦略的に強化したい事業分野（地域・市場）に人材を適材配置することを目的としています。社員が自ら選択できる活躍の場を設け、チャレンジする意欲のある社員のニーズに応える制度です。
- 表彰制度** この制度は、各社毎の就業規則で定められていますが、著しい業績や業務効率向上、あるいは社会的に功績のあった個人・グループを表彰するものです。社員に対する感謝・認知が主眼のもと業績貢献に報いる報奨制度に大別されますが、代表的なものとして、「永年勤続表彰」「KAIZEN」「マスターズコンベンション」「RJ AWARD」「RITS 犬賞」等があり、社員のモチベーションアップに役立っています。

キーワードは、「主体性」「専門性発揮」「成果に基づく評価・処遇」「働きやすい環境」です。

はじめに
CSRの考え方
誠実な企業活動
環境保全
人間尊重
社会貢献
ご紹介

社員のモチベーション向上と好事例の水平展開

● みのり賞

リコーグループではリコーウェイにのった活動をたたえる賞としてみのり賞があります。国内外で79の表彰のうち国内販売関連会社では10件、更にRTSでは震災復興支援特別貢献賞をいただきました。



● RICOH Quality コンテスト

5社合計で316件もの多数の応募を行い、RICOH Qualityのこだわりである「お客様起点」「お客様価値」の視点で特に優れた活動として、栄えある「RICOH Quality賞」に6件が選ばれました。



● 「リコーマスタースコンベンション 2013」が、7月5日、ホテル日航東京で開催されました。国内販売、サービスで優秀な成績（業績）を収めたご販売店と国内販売グループのSA（セールス）、CE（カスタマーエンジニア）、SE（システムエンジニア）521名が表彰されました。



● RJ 最高の榮譽の場である「RICOH JAPAN AWARD」表彰式が、'13年6月12日、千代田区イイノホールで行われ、307名が表彰されました。年間を通した“全社員の競い合い”で、「業績」「プロセス」「マネジメント」「組織」というコースで、素晴らしい成果を収めた社員を表彰する制度です。



● RTS と RBX は、リコーグループ全体で推進している「KAIZEN」の自社版を構築し、それぞれ「KAIZEN トップリーグ」「スパイラルアップ活動」を運営し、年一度の事例発表大会と表彰式を実施しています。この活動は、社員の主体性と創造性を引き出すとともに、業務をスパイラルアップ的に改善し、継続して業務のクオリティを高めようというもので、全員参加の小集団活動で取り組んでいます。事例発表大会では地区選考を勝ち抜いてきた優秀な事例が発表され、審査結果を経て、最優秀賞や優秀賞、特別賞などが授与され、社員の励みになっています。



RTS KAIZEN トップリーグ



RBX '12年度最優秀活動チーム

自主的に何かしなければと取り組み、結果として大きな改善につながったことがよかったです。



● RITS では、IT 構築やソフトウェア開発という事業の特徴を生かした「RITS 大賞」を運営しています。新しいモデルや新技術開発、特許取得といった技術貢献と合わせ、業務改善・改革や、社会貢献分野で活躍した社員を表彰しています。

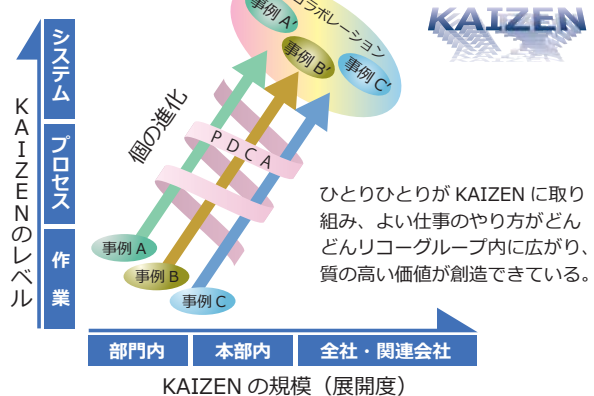


KAIZEN の狙い

- ・組織全体のチームワークを向上する
- ・自ら考え、自ら行動できる自立性を醸成する
- ・問題・課題の発見力や解決力を向上する

経営戦略
実現

目指す姿

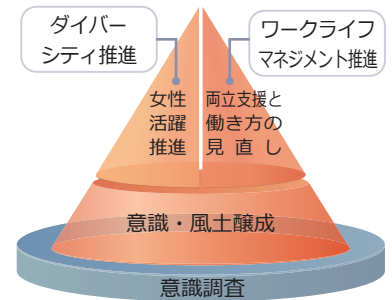




ダイバーシティとワークライフマネジメント

グローバル化の進展や市場・顧客の多様化、また技術の多様化等が急速に進んだことにより、これに対応できる人材の多様化も急速に必要なようになってきました。特に国内では少子高齢化が進み労働力が減少するなか、多様な人材獲得は企業の大きな課題となっています。

このような背景の中、リコーグループでは組織と個人がともに成長する“元気のいい会社”を実現するために「ダイバーシティの推進」と「ワークライフマネジメントの推進」に取り組んでいます。特に「ダイバーシティの推進」では、重要なテーマに「女性活躍推進」を位置づけ取り組んでいます。



仕事と家庭の両立支援

仕事と家庭の両立をサポートするため、育児・介護休業法で定める内容を上回る制度を導入しています。'05年からは、次世代育成支援対策推進法に基づく施策を実施し、「子育て支援に積極的に取り組む企業」として、'12年度に厚生労働省より認定を受けました。現在は、第三期の次世代育成支援行動計画に沿って、働きやすい環境づくりに継続的に取り組んでいます。



育児支援制度

社員の出産・育児と仕事の両立をサポートするための制度です。

育児休職

子が2歳になる月の月末まで取得可能です。

利用実績 男性3名、女性268名 ('12年度)

育児短時間勤務

子が小学校1年生の学年度末まで取得でき、1人の子に対し、制度利用終了後1回限り再取得可能です。

利用実績 女性324名 ('12年度)

イクメン
なう

三男が生まれる際、上の3人の子供の面倒を見る目的で、3週間程育児休暇をとりました。育休は3回目ですが、以前より男性の育休への理解が進んでいたため、スムーズに取得することができました。復職後は育児短時間勤務制度を活用し、保育園への送り迎えを分担することで妻も無事に仕事へ復帰しています。復職後しばらくは家事や育児に協力するため残業もままならない状態で、育休中の遅れを取り戻すのに苦労しましたが、皆様のご協力により乗り越えることができました。ありがとうございました。



RITS
宮村 和男さん

介護支援制度

病気や怪我などで、常時介護を必要とする家族のいる社員をサポートするための制度です。

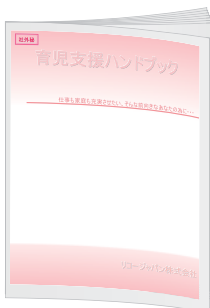
介護休職

1年間を限度に、介護休職と短時間勤務が利用できます。

利用実績 ・取得人数5人 ('12年度)

ダイバーシティが始動

RJ 関西営業本部では、女性活躍推進の一環で、女性社員対象のアンケート結果から、育児支援制度を利用した人の声を網羅した「育児支援ハンドブック」を作成し、マネージャー向けの「育児支援制度勉強会」を企画・実施しました。「育児支援ハンドブック」は「社員用」と「組織職用」があり、全社や関連会社で利用しています。



ちよつとご紹介

妊娠

休職中

復職

育児支援についての疑問

- 会社にはどのタイミングで報告したらいいの？
- 検診のための休暇ってあるの？
- 産休・育休はいつからとればいいのか？
- 出産したら会社に何を提出するの？
- 保育所入所に必要な就労証明はどこに頼むの？
- 復帰が近づいたら何をやるの？ etc.

人事から

いつ報告するかは本人が決めることですが、妊娠初期は体調が不安定になることもあります。早めに上司に報告し、周りの協力を求めてください。



先輩ママから

安定期に入ってから報告と言うのが本音ですが、初期はつわりがあったりでお休みする可能性が高くなります。周囲にはできるだけ早く報告する方が自身のためにもよいかと思います。



キーワードは、「主体性」「専門性発揮」「成果に基づく評価・処遇」「働きやすい環境」です。

ワークスタイル変革へのチャレンジ

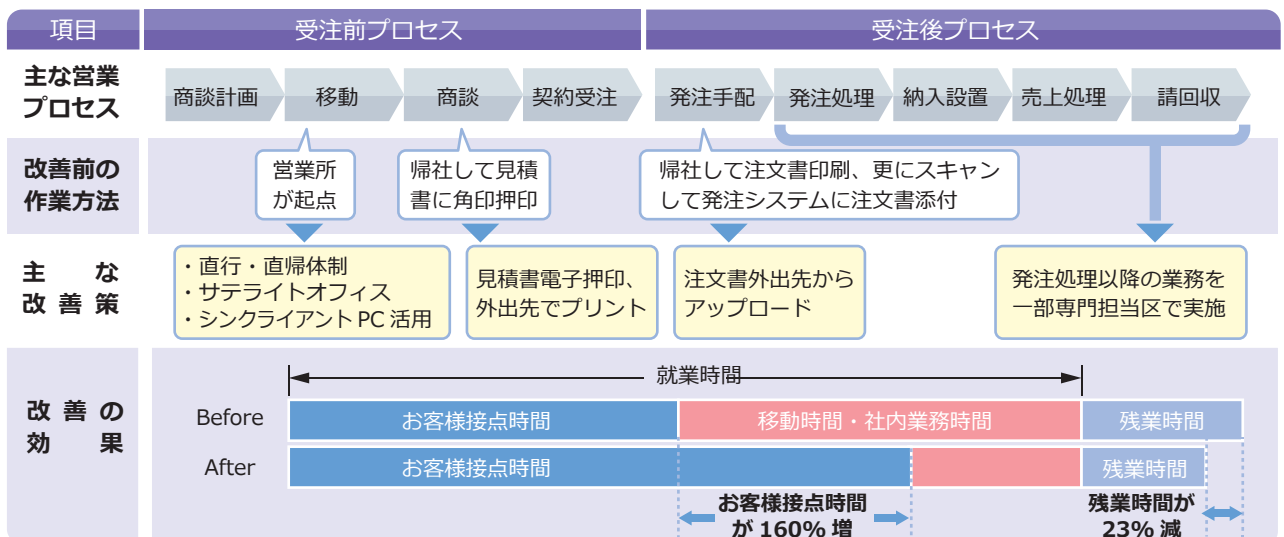
大手企業を担当する営業社員がモバイル端末を持って活動することで、働く場所を選ばず業務が行えるワークスタイルへの変革にチャレンジしています。時間を有効に使うことで、お客様に接する時間を増やし、同時に労働時間の短縮を図り、仕事と家庭のバランスのよいワークスタイルを実現することを狙っています。

私たちが目指す新ワークスタイル（1日の働き方）のイメージ



ワークスタイル変革への取り組みの結果、2012年度は、お客様との接点活動時間が増え受注件数が増加したり、残業時間の短縮や事務所運営コストを低減することができました。今後も、営業プロセスの改善を図り、バランスのよいワークスタイルの実現を進めていきたいと思ひます。

ワークスタイル変革に向けて改善してきたこと



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

人材開発のしくみ

育成方針

リコーグループは、社員の能力開発は自己啓発を基本とし、会社は、一人ひとりが世の中に通用する専門性を身につけるための支援を行うことを役割として、以下の、「リコーグループ育成方針」を定めています。グループ各社はこの育成方針に沿って、それぞれの機能別教育体系を構築しています。

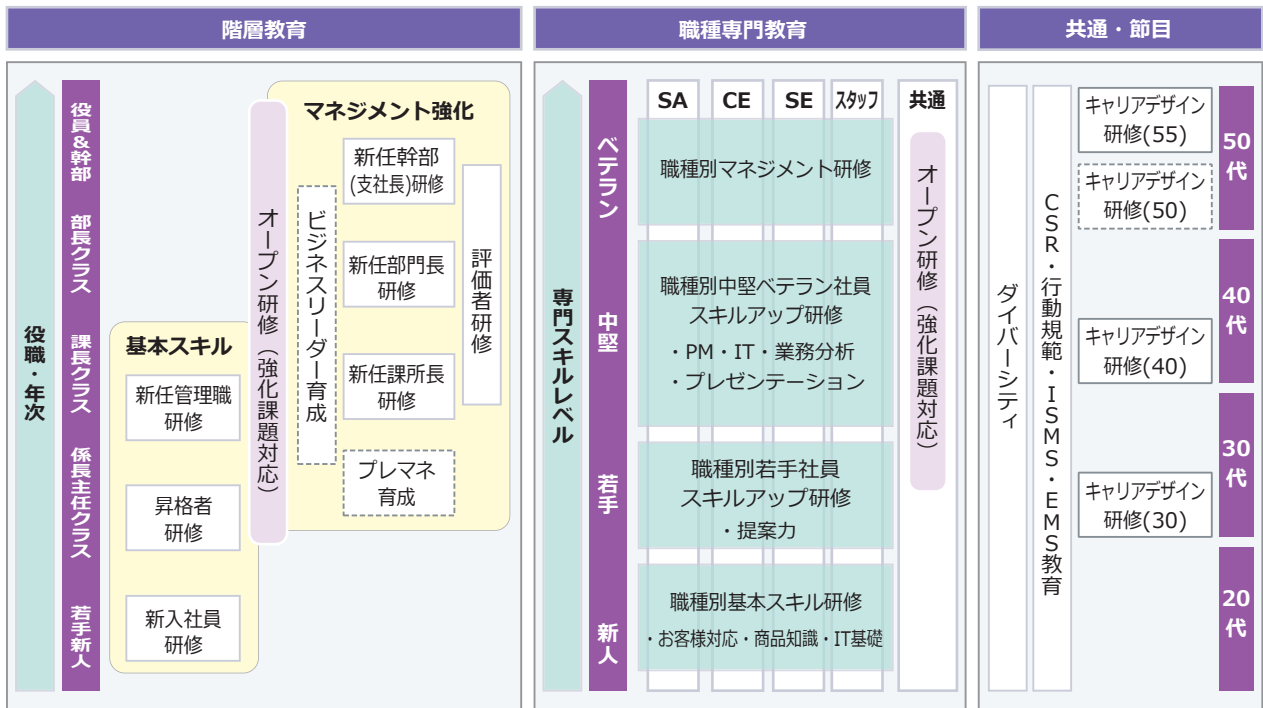
リコーグループ育成方針

- ① 全ての社員が持てる能力を最大限高めることのできる育成の機会を提供する。
- ② 自らリコーウェイを実践しながら、卓越した業績をあげることのできるリーダーを養成する。
- ③ グローバル市場で戦うことのできる経営幹部、及び、事業・技術のプロフェッショナルを育てる。



教育体系

価値共創パートナーの実現を目指し、育成方針に沿って育成環境を構築していく上で重要なことは、変化し続ける市場環境にあっても、それに対応して成長し続けることができる、「強い育成風土を構築」することだと考えています。その軸は、「自ら育つ」という成長意欲を醸成できる育成環境の整備と、「現場で育てる」という風土にしていくための、事業成果+人材育成の両軸でマネジメントできる組織職・次世代経営幹部の育成と考え、私たちはこれに沿った教育体系を、各社の事業に応じて構築しています。



※教育体系図は、主なものだけを掲載しています。全コースは網羅されておりません。

※階層別教育の職位名やコース名は、各社ごとに異なっていますので、一般的な表現に置き換えて掲載しています。

※ [] の研修は企画開発中です。

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

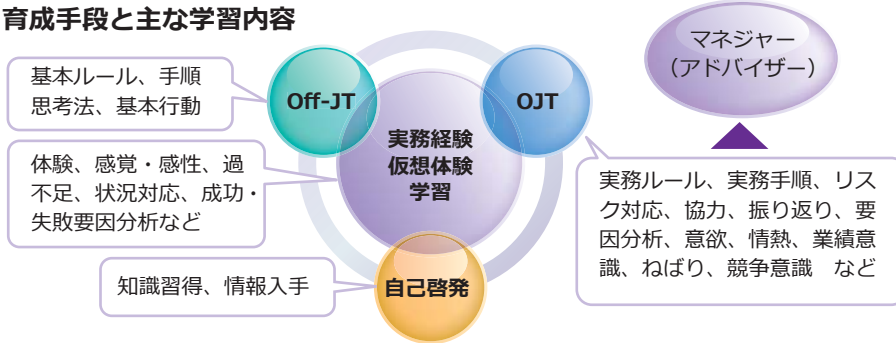
ご紹介

会社（組織）が人材育成に全力で取り組み、一人ひとりが自己成長できる環境を整備しています。

新入社員の早期育成

お客様訪問時には、たとえ新入社員でも立派なリコーの代表。そこで、お客様に早く価値提供できるように、集合研修の期間内で販売活動等を体験して配属すると共に、配属後2年間は育成をサポートするアドバイザー制度（RJ）やビッグブラザー制度（RTS）を設けています。’13年度はRJを始めRTS、RITS、RBX、RPPS-J等、国内のお客様を担当するリコーグループ各社合同で、新入社員176名の実践型研修をスタートさせました。

1 育成手段と主な学習内容



新入社員合同研修風景

2 ビッグブラザー制度 (RTS)

研修を終え、実際の職場に配属された新入社員の良き相談相手となり、早期育成を担当するのが「ビッグブラザー」「ビッグシスター」です。仕事の取り組み方や基本行動、スキル面のみならず職場での悩み等、メンタル面のケアなども行います。

3 アドバイザー制度 (RJ)

配属後のフォロー・育成のためにアドバイザー制度を設定。新人育成面で課所長を支援するアドバイザーを任命し、配属後のお客様対応活動全般で、新人の育成を担います。同時にアドバイザー自身の部下育成スキルの向上も図ります。

チームリーダー研修

RBX では次世代のリーダー育成のために、重点的にチームリーダー研修に取り組んでいます。チームリーダーが抱える悩みを参加メンバーと共有することで、問題解決やスキルアップに繋げ、日々の業務を円滑にしながら、自らの成長とやりがいを実感できる職場環境づくりに取り組んでいます。’12年度は141名(内女性チームリーダー84名)が参加しました。



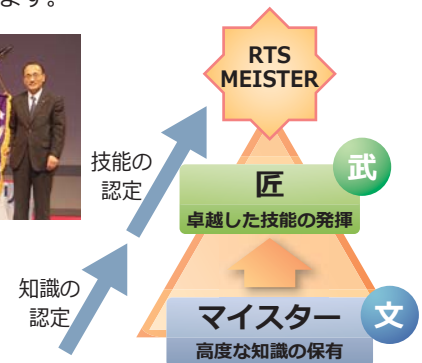
グループディスカッション



チームリーダーへの期待と役割についての発表

匠称号制度

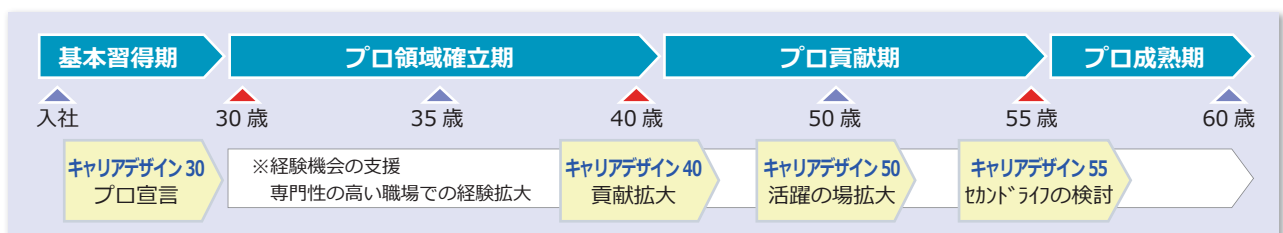
RTS では高度な知識と卓越した技能を活かしながら職務を円滑に遂行し、文武両道で周囲の模範となっている社員に「匠称号」を認定し、品質と技術にこだわる文化を醸成しています。



節目教育

～プロ社員としての意識形成～

世代毎の特性や課題に合わせて 30、40、50、55 歳の節目で「キャリアデザイン研修」を実施し、社員一人一人が、自分自身の実現したいキャリアと会社の中で目指すべきプロ社員としての方向性を確認し、自分の職務遂行上の特性（強み・弱み）を踏まえて、プロとしてありたい姿の再設計をし（キャリアプラン）、実現に向けた道筋を描きます。



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介






リコーグループの一員としての社会貢献

リコーグループでは、社会が抱えるさまざまな課題に真摯に向き合い、社会と共に成長する企業を目指して、グループ・グローバルの社会貢献基本方針を設定し、共通コンセプトに基づき、各グループ会社の強みや人材・リソースを活かした社会貢献活動に取り組んでいます。

リコーグループ社会貢献基本方針

リコーグループは「良き企業市民」として、国または地域の文化や習慣を尊重し、志を同じくする人々とのパートナーシップのもと、会社と社員が協力し合い、地球・社会の持続的発展に貢献するために、重点分野を定めた社会貢献活動に取り組んでいます。



-  地球市民の使命として、自らの責任で地球環境保全に取り組んでいます。環境負荷を削減するだけでなく、地球環境の回復力を維持し高めていくための生物多様性保全にも取り組んでいます。(活動内容は、21～22ページを参照)
-  私たちは地域社会との共存・共生、そしてともに発展することを目指し、コミュニティのニーズに即した社会貢献活動に取り組んでいます。実施にあたっては、国際社会が抱える課題である「ミレニアム開発目標(MDGs)」「社会(ステークホルダー)との協働」「自社の事業成長にもつながる取り組み」を重視しています。
-  リコーグループが提供する体験・活動プログラムに触れた子どもたちが、企業や職業に関心を持って成長し、将来、夢をもって社会へ踏み出せる環境を創る。それが企業と社会の持続的発展につながる“夢のサイクル”だと考えています。

リコー・サイエンスキャラバン

科学の不思議と楽しさを体感することで、より多くの子どもたちに科学を好きになってもらう機会を提供するプログラムです。コピー機の原理を体験する「コピー機になってみよう!」や、複合機のスキャナー機能を活用し、子どもたちが描いたモンスターを戦わせる「熱闘!紙バトラー」やレースカーを使った「激走!紙レーサー」を全国展開しています。2012年度は、32回の開催を通じ、延べ17,631人の子どもたちが参加しました。またこのプログラムは、リコーグループ各社の社員が、機材の運搬や機器のメンテナンス、説明スタッフと、それぞれの立場で運営に関わっています。221人のグループ社員が自主的に参加し、子どもたちとの交流を図りました。



参加者の声

RJ ICT事業本部 PASSセンター 松田 治郎さん

子供たちに「コピー機になってみよう」でコピーの原理を知ってもらい、「紙バトラー」を通してカラーコピー機が色を読み取って再現する仕組みを説明すると、仕組みを理解する喜びに感動する子供がたくさん現れました。中には、「将来リコーに入りたい」とまで言ってくれる子供たちや、「リコーさんは良い活動をしていますね」と言ってくださる保護者もいらっしゃいました。CSR活動を通して、良き企業市民として青少年育成に貢献できたことが心から嬉しく感謝しています。

企業市民としての役割を自覚し、地域社会の一員として、積極的にさまざまな社会貢献活動を展開しています。

市村自然塾 関東

創業者 市村清の生誕100周年を記念して、2002年に神奈川県に設立した施設です。ここでは、“生きる力を大地から学ぶ”を基本理念に、「農作業を中心とした自然体験活動」「異年齢の子ども達の共同生活」を通して、自然の尊さ、感謝の心、自立心、責任感、協調性など、子ども達の成長を支援しています。今年で11周年を迎えた自然塾は、これまでに568名の子ども達が巣立っています。



生きる力を大地から学ぶ



リコー社会貢献クラブ・FreeWill

リコー社会貢献クラブ・FreeWillは、「一人ひとりの浄財を、より多数の参加と継続によって、全体で大きな資金として社会貢献活動に資すること」を狙いとして、1999年に発足した社員主体の社会貢献活動の枠組みです。



会員社員は、毎月の給与と賞与の端数を拠出し、集まった資金を、社会的課題の解決のために活動しているNPO等の支援や会員社員の社会貢献活動に役立てています。



2012年度は、43団体への寄付支援を実施しました。また、FreeWill有志メンバーが福島県の仮設住宅の集会所を訪れ、炊き出しやレクリエーションなどのイベントに参加したり、会員社員から寄せられた応援メッセージにチョコレートを添えてお渡しするなどの支援活動を行いました。

スタンドアップ・テイクアクション

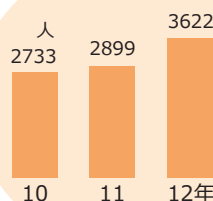
2015年までに貧困を半減するなど、8つの目標を国連で宣言したミレニアム開発目標。世界のリーダーたちに目標達成を働きかける世界同時イベント「スタンドアップ・テイクアクション」に賛同し、今年もリコー国内販売グループは、約3,600名の社員が立ち上がりました。

ミレニアム開発目標 (2000年国連で採択)

- 目標1 とてつもない飢えをなくそう
- 目標2 みんなが学校に通えるようにしましょう
- 目標3 ジェンダの平等を進めて女性の地位を向上させよう
- 目標4 子供の死亡率を下げよう
- 目標5 女性が健康な状態で妊娠し、子供を産めるようにしましょう
- 目標6 HIV/エイズ、マラリア、その他の病気が広がるのを防ごう
- 目標7 環境の持続可能性を確保しよう
- 目標8 世界の一員として先進国も責任を果たそう

貧困のない
世界の実現に
向けて

【販売グループ参加人数推移】



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介



各社・各地で取り組んでいる社会貢献活動

次世代育成プログラム

RTSでは次世代育成の一環として、職場体験学習の受入れや高校受験のための社会勉強として、模擬面接会を行っています。子供たちや保護者、その他関係者の皆さんから、いつも温かいことばを頂戴しています。

1 大田区内中学生の職場体験学習／RTS サービスオペレーションセンター

プログラム	1日目	2日目	3日目
	・ビジネスマナー ・PC修理体験	・キッキング	・PPC修理体験

感想

毎日ワクワクして、どんなことを教えてもらえるか楽しみ&嬉しかった。とても充実した3日間でした。この職場体験で学んだことは、とても沢山ありました。その中で、私が最も大切だと思ったのは「機械と向き合っている、その先にはお客様がいる」と言う言葉です。これは、社員の方々が口をそろえて言っていた言葉です。私はこの言葉を肝に銘じようと思います。



2 御徒町台東中学校で模擬面接会を行いました。 2013年1月11日(金)

RTS社員14名が、台東区立御徒町台東中学校で、同校3年生124名の模擬面接会を行いました。この模擬面接会は「高校受験の面接対策の仕上げとして、社会人の方の厳しい目で生徒を指導して欲しい。特に基本行動の指導をしていただきたい。」との中学校からのご要望により、青少年育成の一環で毎年行なっています。

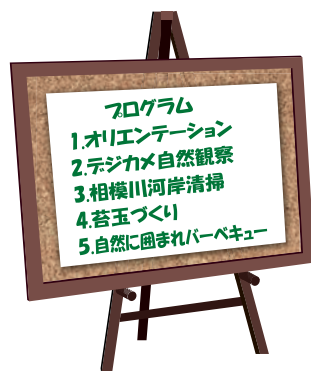
面接官を体験して



生徒との模擬面接を通じて基本行動を学んでいただくことで、社会人として実践する立場にある私たちが、次世代の育成に少しでも貢献できることに喜びを感じております。

3 次世代への環境保全継承活動

RJ(神奈川支社)では、最近の取組みとして『環境活動の輪』を広げています。社員だけではなく、お客様やご販売店、そのご家族にも参加を呼びかけ、さまざまな環境プログラムを展開しています。環境活動を通じて、お客様やご販売店への水平の広がりや次世代への垂直の広がりのおかげになり、ご参加いただいた方々にも好評です。



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

コミュニティ支援

ピンクリボングッズショップが香川事業所にオープン

RJ（関西営業本部）では、2011年にスタートした「女性活躍推進ワーキング」活動の中から、四国支社「おとめプロジェクト」が企画した「ピンクリボングッズショップ」が、香川事業所1Fショールームにオープンしました。乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」を通じて、乳がん検診率が少しでも高くなればと思い、「ピンクリボングッズショップ」をオープンして、正しいがん検診情報や、「がん検診に行こう！」を伝えようと活動しています。グッズの売り上げは、「ピンクリボンかがわ県協議会」様を通じて、啓発活動に活用されます。

今回の企画の実現に中心となって活躍された、左から



合田さん・村田さん・上枝さん。新聞や放送局など、多数のメディアにとりあげていただき、社会の反響がすごく大きいことにビックリしました。



香川県伝統工芸士の方に突撃依頼して、「応援になるなら」と快諾していただき誕生した「おっぱい和三盆」。高松市内の障害者就労施設で製造し、ショップで販売しています。



ピンクリボン運動応援しています



RTS関西MA支社も応援しています。

啓発グッズである「ピンバッチ」を関西MA支社で106個購入し、身につけることで「ピンクリボン運動を広げる」お手伝いができればと活動を始めました。

今年も全国各地で「献血」を実施

グループ各社では、2012年度も全国各地で献血を実施しました。

RTS本社では、地域社会とのコミュニケーションを深めるため、社内だけではなく近隣の会社の皆様にもご参加いただいております。また、RTS関西事業本部では、献血活動への貢献が認められ、大阪府知事から感謝状をいただきました。



普通救命講習への参加

RTSとRJは、いざというときに備えて、消防署が主催する救命講習に参加し、心肺蘇生法や、AEDの使用方法を習得しています。参加者からは救急救命処置の大切さを理解し、その訓練を繰り返し行ったことで、緊急時でも自信を持って対応出来るようになったという声が聞かれます。RTS西東京支社では毎年の講習参加が認められ、福生消防署署長から救命講習受講優良での感謝状をいただきました。





収集ボランティア

FreeWill 収集ボランティア

使用済プリペイドカード、使用済切手、書き損じ葉書等を収集して、リコー社会貢献クラブ FreeWill 事務局に送ります。収集物は支援団体を通じ、(切手 8.6kg, カード 692 枚, ハガキ 601 枚) 総額 63,171 円分が、開発途上国支援に活用されました。



ペットボトルキャップ収集

今やエコキャップ運動は、ほぼ全ての事業所に定着しています。キャップのリサイクル活動に参加することで、資源や環境について考える機会が得られます。

860 コでポリオワクチン 1人分



BOOK MAGIC

社員が読み終えた本や、自宅で眠っているCDを集め、買い取ってもらったお金を寄付する「ブックマジック」に参加しました。寄付金は、紛争や災害で教育を受けられない子供たちの支援活動に役立てられました



お客様・パートナーへも広がる社会貢献の輪



私たちが運営している、お客様のビジネスをサポートするオンラインショッピングサイト「NetRICOH」では、購入金額に応じてお客様がためたポイントを通常の商品への交換だけでなく「環境保全活動」「社会貢献」「震災復興支援活動」へ寄付金として役立てることができます。2012年1～12月は、「東日本大震災支援」に26万円、「環境保全や人道支援」に18万円相当のポイントを寄付いただきました。これからも、お客様・パートナー・リコーグループが一体となって、社会へ支援の輪をひろげていこうと考えています。

NetRICOH 「環境・社会貢献」メニューのお知らせ

NetRICOHポイントサービスのギフト交換「環境・社会貢献」メニューがリニューアルしました。お客様のNetRICOHポイントを対象ギフトと交換していただく、森林保全活動や海洋保全活動などの環境保全活動や人道支援などの社会貢献活動への支援につながります。

リコーグループは、地球環境保全に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献します。
 ※リコーの環境経営についてはこちらから

人と地球を大切に
 心と行動を育む社会貢献活動を支援しています。
 ※リコーの社会貢献活動についてはこちらから

【ご寄付】アファンの森財団
 アファンの森トラスト基金10,000ポイント
 長野県黒根にある「アファンの森」再生活動として、5000円分が寄付され、それが1年分の森トラスト基金と1年間の管理費用として活用されます。
[詳しくはこちら](#)

【ご寄付】アファンの森財団
 森林保全基金1,000ポイント
 森に棲む生き物(生物多様性の向上)のために、森林を整備保全する基金として活用されます。
[詳しくはこちら](#)

【ご寄付】アファンの森財団
 震災復興支援基金1,000ポイント
 東日本大震災に関連した事業の活動資金の一部として寄付されま
 す。
[詳しくはこちら](#)

はじめに
 CSRの考え方
 誠実な企業活動
 環境保全
 人間尊重
 社会貢献
 ご紹介

企業市民としての役割を自覚し、地域社会の一員として、積極的にさまざまな社会貢献活動を展開しています。

地域美化活動

ごみのない美しい町に。全国津々浦々で、町の美化に取り組んでいます。町がきれいになることで、仕事にも気持ちよく取り組みます。地元の人からも声をかけられ、コミュニケーションの輪も広がります。



Let's try to keep our streets clean!



近くの自転車屋さんに「いつもありがとうございます」と、お礼を言ってもらいました。清掃活動を継続し地域のお役にたてればと思います

街がきれいになれば気持ちも晴れやかになり、一日の始まりが気持ちよくスタートできます！



RJ兵庫
・蒔野さん(右)
・谷田さん(左)

ニッポンを
ピッカ×2に!

街の美化に努めよう



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

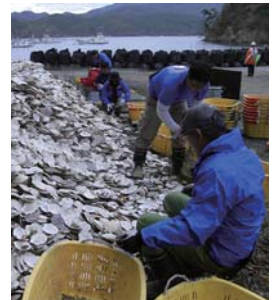


東日本大震災復興支援活動

東日本大震災の復興支援として、これまでに東松島市を含めた4市町村で、震災直後からトラックに複合機を搭載し、避難所や仮設住宅を巡回して、市役所からのお知らせ情報配信や各種証明書等のコピーニーズにお応えする「コミュニティ巡回型情報プリントサービス」や、東松島市以外の地区で、津波により流失した写真を洗浄・デジタル化して、各自治体の写真センターで写真の原本とそのデータをお渡しする「セーブ・ザ・メモリープロジェクト」を展開してきました。これらの活動のうち、「コミュニティ巡回型情報プリントサービス」は2012年3月に終了しましたが、まだまだご支援できることは沢山あるという思いから、被災された地域の皆さんが元気になることを願い、復興支援活動を継続しています。

東北復興応援隊

私たちは、「東北復興応援隊」を結成し、2012年10月から2013年3月まで、毎月1回/全6回の予定で、被災地である宮城県石巻市を訪問し、漁業支援などの復興支援を行いました。この活動は2013年も7月から再開し、2014年3月まで継続して実施する予定です。



Voice 応援隊参加者

- ・震災当時の様子やいろいろな想いを聴くことができたり、これから会社で仕事をするにあたって役立つことができました。
- ・非日常を感じて、日常の当たり前のありがたさを再認識しました。
- ・現地のボランティアを受け入れて下さった方がおっしゃっていた「遠くからでも寄り添ってほしい」という言葉が胸にしみました。

Voice 漁師さん

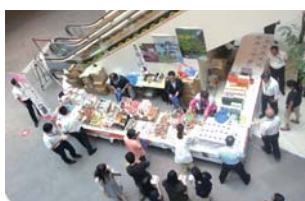
- ・遠方からみなさんに駆けつけていただき、本当に助かりました。このようなつながりが、今後増えていくことを願っています。本当にありがとうございました。

東北復興物産展

東日本大震災の産業復興支援の一助として、グループをあげて復興物産展を実施しています。現地への支援になるだけでなく、日々何かで協力できないかと思っている社員への機会の提供にもなっています。この活動も、グループ各社へ広げながら、継続して実施していく予定です。

Voice 物産展参加者

- ・個人的に被災地に行っていますが、継続性の大事さと、時間とともに変化していく支援ニーズに応える必要性を感じています。こういった企画に参加することも、自分にできることのひとつだと思っています。



RJ 神奈川



RJ 本社



RTS 本社



RTS 本社

セミナー「真の気づき・教訓」

東日本大震災以降、全国各地で高まる災害リスクの中、万が一災害が発生した場合は、多くの人命を救い、被害を最小限にとどめることにつなげたいという思いから、『真の気づき・教訓 いざその時！ あなたはどう備え、どう動くか』と題して、震災体験メッセージセミナーを各地で展開しています。参加者の皆様からは、大変ためになる話がきけたと、好評をいただいています。



2013年1月24日(木)
セミナーに参加されたお客様の声 (RJ 都城 CCS プレゼンテーション)

- ・東北の体験を踏まえた貴重なお話を聞くことができ、とてもためになりました。
- ・家族の安否確認の連絡方法を、しっかり考える必要があることを強く感じました。
- ・大変参考になると感動し(真の気づき・教訓を)職員全員に配布しました。

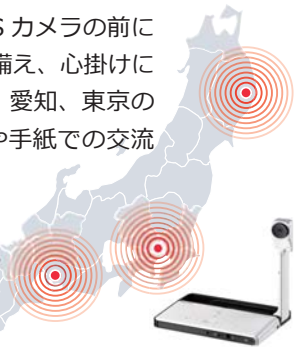


UCSで3.11防災集会

～岩手、東京、愛知の小学生がつながった～



被災した「釜石市立釜石小学校」に物資や義援金を贈るなど、支援を通じて交流を深めてきた「棚尾小学校(愛知県)」「第二亀戸小学校(東京都)」の3校が、RJ貸出しのUCSでつながり、防災集会が行われました。各校の児童会代表がUCSカメラの前に立ち、地震の体験談を聞いたり、各校の復興への思いや避難への備え、心掛けについて発表していました。釜石小の防災への取り組みを通して、愛知、東京の児童達も防災意識の大切さを学ぶ発表会でした。昨年は、電話や手紙での交流でしたが、「より、リアリティーのある体験をさせたい」と第二亀戸小学校の校長先生がUCSの利用を思いつき、2校に呼びかけて実現しました。映像を見ることで「子供たちがリアルタイムに場を共有でき、肌感覚が伝わる」と、高い評価をいただきました。



※UCS: Unified Communication System

NetRICOHによる復興応援

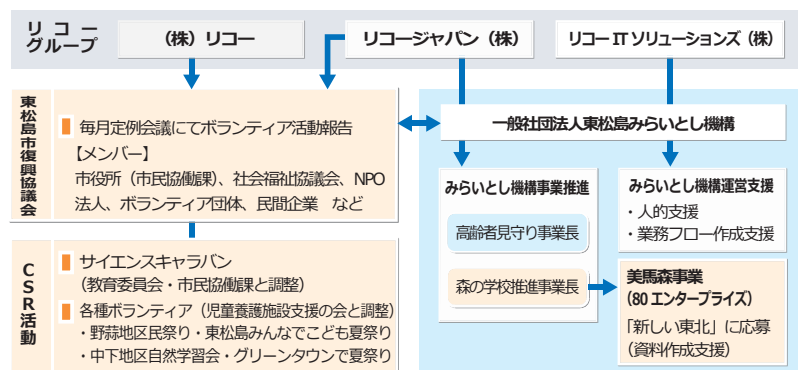
NetRICOHでは<とことん県民性>という「県民性」、「地域密着」をテーマにしたコンテンツをWeb上で展開しています。その中で、「東北応援企画」と題して、東北3県(宮城、岩手、福島)のお客様の会社や商品などのPRができる場を設けて、東北3県のお客様を応援しています。

<http://www.netricoh.com/contents/officelife/touhokuouen/index.html>



東松島市「環境未来都市構想」に参画

リコージャパンは社団法人東松島みらいとし機構(通称HOPE)と協働し、東松島市の環境未来都市構想実現に向けた支援として、「森の学校推進事業」「高齢者見守り事業」の二つの事業に参画しています。またリコーITソリューションズは人材支援で、リコーは復興協議会に参加するなど、グループをあげて未来都市構想を支援しています。





ViCreA

Value innovation Creative Area

私達の「ワーク

ViCreA (ヴィクレア: Value innovation Creative Area) は、私たちのワークスタイル変革へのチャレンジを、お客様にご体感していただく空間、「LiveOffice」です。

ViCreA では、「社内実践事例」のご紹介を通して、お客様の価値創造へのお役立ちをさせていただきます。自ら実践した内容だからこそ、成功事例はもちろんのこと、失敗談も含めた生のノウハウを、お客様に自信を持ってご提供することができると考えております。

全国各地の ViCreA にてお客様をお待ちしております。お気軽に担当営業までお申し付け下さい。

ViCreAでご紹介している実践内容

経営基盤強化

持続的な成長に向けたゆるぎない経営基盤づくり



- 5S 活動の徹底
- セキュリティ強化
- コンプライアンス強化
- 事業継続計画
- 環境負荷削減

- ・ クリアデスク・クリアスクリーンの徹底
- ・ IC カード (社員証) による入退室管理・認証印刷
- ・ 毎月のセルフチェックによる社員教育の実施
- ・ 社員安否確認システムの導入
- ・ チャレンジ 25 への参画による環境配慮活動

ワークスタイル変革

進化するIT環境に対応し、新しいワークスタイルへの変革を実現



- 働きやすいオフィス作り
- 営業職直行直帰型ワークスタイルへの変革
- 出力環境の最適化

- ・ ユニバーサルレイアウトの導入によるマネジメント変革
- ・ 職種にあわせたデスクスタイルの導入
- ・ 営業職の直行直帰ワークスタイル変革へのチャレンジ
- ・ 出力環境の最適化による機器台数の削減

業務プロセス改革

IT活用・業務の可視化/改善の実施による効率の良い業務プロセスへ



- 通信業務の改善
- グループウェア活用による業務効率向上
- 会議スタイルの変革

- ・ 直通内線の活用促進による取次ぎ業務軽減と集中化
- ・ リコー UCS 活用による出張経費 / 移動時間の削減
- ・ インタラクティブホワイトボード活用による打合せ効率 UP
- ・ 会議スタイルの見直しによる業務効率向上

売上拡大

社員が働きやすい、オフィスづくり



- 営業提案力強化
- 報奨制度の見直し
- 人材育成環境の整備
- 情報発信力の強化

- ・ タブレット端末を活用した営業提案力強化
- ・ 社内報奨制度改革によるモチベーション UP
- ・ アドバイザー制度による若手社員の早期戦力化
- ・ デジタルサイネージによる社内・社外への情報発信

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

私たちは、課題解決のためのさまざまな実践事例を、お客様と共有したいと考えています

スタイル」変革へのチャレンジを、お客様にご体感していただく空間『ヴィクレア』

ViCreA ご案内の流れ

ViCreA では、お客様のご要望に合わせて、ご紹介の内容や時間を調整させていただきます。お気軽に、弊社担当営業までお申し付け下さい。



共有させていただいた内容をもとに、お客様の課題解決へのご提案、更なる情報提供を実施いたします。

ViCreA ご来場実績・ご来場いただいたお客様の声

948
ご来場社数

※ '12年4月
～ '13年3月

お客様の声

- 他社の執務エリアを実際に見学させていただく機会はなかなかないので、とても参考になりました。
- 今後の自社のペーパーレスの進め方について、具体的なイメージが沸きました。
- 事務所の社内美化が継続されている姿勢には頭が下がります！改善の徹底方法について、ぜひ今後もアドバイスをお願い致します。

全国 ViCreA 拠点一覧



ViCreA 札幌	ViCreA 甲府	ViCreA Satellite 浜松
ViCreA 仙台	ViCreA 山梨中央	ViCreA 名古屋
ViCreA 郡山	ViCreA Satellite 富士吉田	ViCreA Satellite 三河
ViCreA さいたま	ViCreA みなとみらい	ViCreA Satellite 豊橋
ViCreA 水戸	ViCreA 銀座	ViCreA Satellite 名北
ViCreA Satellite つくば	ViCreA Central	ViCreA Satellite 尾張
ViCreA 宇都宮	ViCreA 東京	ViCreA Satellite 岡崎
ViCreA 前橋	ViCreA 新宿	ViCreA Satellite 名南
ViCreA 新潟	ViCreA 東静岡	ViCreA 四日市
ViCreA Satellite 長岡	ViCreA Satellite 相模原	ViCreA 大阪
ViCreA 長野	ViCreA 幕張	ViCreA 広島
ViCreA Satellite 東信	ViCreA 静岡	ViCreA 岡山
ViCreA Satellite 松本		ViCreA 福岡

全国のViCreAをWeb上にてバーチャルでご体感頂けます。

<http://ricohjapan-vicrea-panorawalk.cloudapp.net/vicrea/top.html>

ホームページからもViCreA見学をお申込み頂けます！ ご来場をお待ちしております。

<http://www.ricoh-japan.co.jp/liveoffice/>

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介



リコー実践プレゼンテーション

リコーグループ各社で培ってきた社内実践ノウハウをお客様の課題解決や企業体質の強化にご活用ください。

私たちはお客様の企業価値向上に貢献でき、安心・満足・感動していただく「価値共創パートナー」となることを目指しています。また、リコーグループで実践して成果が出ている改善・改革のノウハウを、経営課題の解決に寄与できるソリューションメニューとしてご用意しています。



【社内実践事例テーマ一覧】



私たちが実践したこと、挑戦したこと、ご紹介します。
お客様が抱える経営課題は、私たちリコーの経営課題でもありました。

16 分野からご紹介いたします

カテゴリ	概要	カテゴリ	概要
CSR	<p>持続可能な社会と企業の発展を目指し、CSRの基盤となる3つの考え方を実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員の意識を高め、CSRをどう根付かせるか ・具体的にどんな活動を実践しているか ・自社の技術や人材を活かした社会貢献活動 	人事・総務	<p>経営戦略実現のキーとなる人材強化で、やる気のサイクルを高め「元気のいい会社」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材タイプ別キャリアデザイン ・ワークライフバランス ・e-ラーニングシステム
環境	<p>環境負荷削減と生物多様性保全の両輪で、地球環境問題への取り組みを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全と利益創出の同軸化 ・CO2見える化や具体的な環境負荷低減活動 	販売・サービス	<p>お客様起点の「安心」「満足」「感動」の実現を目指したお客様接点力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価値提供プロセスの可視化とインフラ強化 ・導入後の「安心利用」を提供するサポート体制
ITシステム	<p>業務プロセス最適化とIT活用による業務効率化、及び、IT活用によるセキュアな会社づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事・総務等、スタッフ部門のIT活用システム ・国内グループ91社のISMS統一認証システム 	開発・設計	
経営企画・広報	<p>21世紀の勝利者を目指し、「顧客価値創造」と「高効率経営」の両軸徹底による競争力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略と部門施策を明確にした経営マネジメント (BSCの活用) 	資材	
生産	<p>「大量生産」と「短納期・小ロット」生産。2極化するニーズに対する現場の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質・経費・納期・安全実現の5S活動 ・労働災害の「潜在的危険低減」と「快適職場環境の形成」 	品質	<p>SCM構造改革</p> <p>多くの事例は、「お客様が抱える経営課題」に通じていませんか。私たちが実践してきたことが、お客様のお役にたてるかも知れません。</p>
		物流	

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

私たちは、課題解決のためのさまざまな実践事例を、お客様と共有したいと考えています

実践事例のご紹介状況

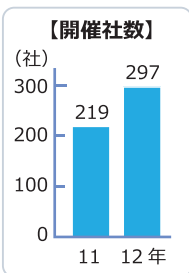
インナーセミナー・集合セミナー

CIS における私たちの主要な活動は、声をおかけいただいたお客様先での、お客様ニーズに応じた1社ごとの「インナーセミナー」と、当社にお越しいただいての、異業種のお客様にご参加いただく「集合セミナー」です。おかげさまで、「インナーセミナー」は、'12年度は300本に迫るご用命をいただき、多くのお客様に課題解決のヒントをご提供することができました。

'12年度人気セミナー

- ①5S・改善セミナー（工場等）
- ②労働安全衛生セミナー
- ③環境、省エネセミナー
- ④情報セキュリティセミナー
- ⑤BCP（事業継続計画）セミナー
- ⑥人財育成セミナー
- ⑦顧客満足（CS）セミナー
- ⑧ワークスタイルの変革セミナー

インナーセミナー実績



スタッフ系ベンチマーキング

リコーグループはこれまで CS 経営、IT 経営、環境経営、そして CSR 経営を標榜してきました。お客様の経営課題の解決のヒントになるような・実践で培ったノウハウを Face to Face の対話形式でお客様に提供しています。

こんな要望にお応えしています

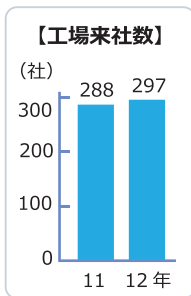
- A 社** CSR の基本的な考え方、アクションプラン、推進体制、レポート、グローバル展開などについて聞きたい
- B 社** ダイバーシティについての進め方、意識改革、教育訓練、マネージャーの教育とフォローをどうしているか
- C 社** 海外のグループ企業で ISO27001 を取得した際の苦労話、またそこから得られた教訓や重点ポイントを知りたい

生産系ベンチマーキング

リコーグループの技術の粋を結集した、開発・設計・生産拠点の見学会を開催しています。実際の現場を見ていただくことで、5S や KAIZEN 活動、労働安全衛生活動などの実際をご体感いただいています。

工場見学のポイント・来社実績

- ①5S、KAIZEN 活動
- ②品質マネジメント活動
- ③環境、省エネセミナー
- ④環境マネジメント活動
- ⑤労働安全衛生活動
- ⑥情報管理活動
- ⑦テクニカルコールセンター
- ⑧受注センター



見学可能な工場等

- ① リコー光学(株)
- ② 迫リコー(株)
- ③ リコーインダストリー(株) 東北事業所
- ④ リコーインダストリー(株) 勝田事業所
- ⑤ リコーインダストリー(株) 埼玉事業所
- ⑥ (株)リコー テクノロジーセンター
- ⑦ リコーテクノロジーズ(株) 本社
- ⑧ リコーインダストリー(株) 本社
- ⑨ (株)リコー 沼津事業所
- ⑩ (株)リコー 福井事業所
- ⑪ リコーエレメックス(株) 本社・岡崎事業所
- ⑫ リコーエレメックス(株) 恵那事業所
- ⑬ リコーマイクロエレクトロニクス(株)

生産関連



お客様の声

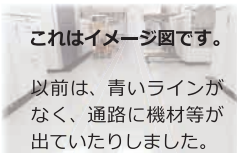
従業員：30名 印刷業 社長様から

昨年2月にリコーユニテクノ (RUC) を見学させていただき、まさにわが社の「進むべき姿」だと思いました。4月の方針説明で「自社の RUC 化」を宣言し、従業員全員で RUC を見学させていただきました。その後、RUC に「職場診断」をしてもらい、指導を受けました。わが社に来社されるお客様からは、「わかりましたね！」と言われる事が多くなり、形は少しずつ改善されてきました。まだ、社員が自ら考え、行動するまでには至っておりませんが、引き続き、リコーさんから支援をいただきたいと思っています。

従業員：250名 製造業 業務革新室長様から

リコー沼津事業所を見学させていただき、5S+3S、安全、リサイクル等の活動に真剣に取り組んでいる姿に感銘を受けました。「中央リサイクル市場」では、ゴミ計量システムや遊び心を取り入れた看板などのアイデアには感心しました。「危険体感塾」では危険体験する事で安全について再認識できました。早速、弊社でも「ボール盤巻き込まれ体験」を実施して、慣れによる安全意識の低下に警鐘を鳴らすことができました。活動は継続することの大切さも教えられた工場見学会でした。

Before

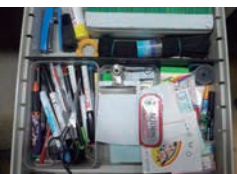


After



※リコーユニテクノ (RUC) は、'13年4月1日 リコーインダストリー(株) 埼玉事業所に社名が変わりました。

Before



After



はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

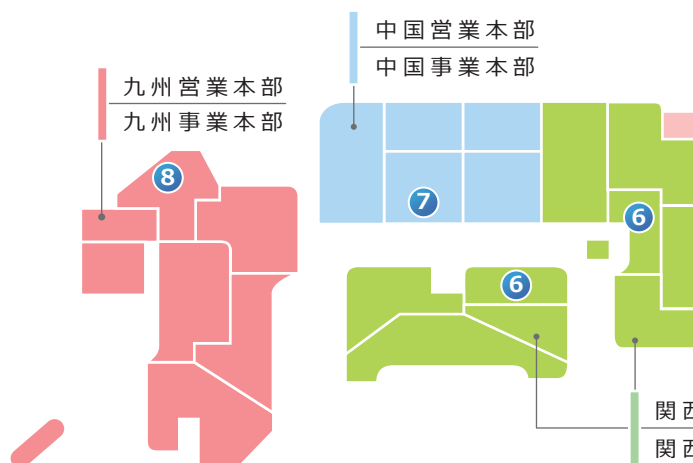
リコージャパン (株)

- ★ **本社事業所** 〒104-8222 東京都中央区銀座 8-13-1 リコービル
 - ・ OR事業本部 〒103-0016 中央区日本橋小網町 19-5 akebono 日本橋ビル
 - ・ BP事業本部 〒104-8222 中央区銀座 8-13-1 リコービル
 - ・ NetRICOH 事業本部 〒104-0053 中央区晴海 3-10-1 グラスシティ晴海 5 F
 - ・ MA 事業本部 〒104-8222 中央区銀座 8-13-1 リコービル
- 1 北海道営業本部** 〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 2-8-1 札幌北ビル
 - ・ エリア事業センター 〒003-0003 札幌市白石区東札幌 3 条 6 丁目 1-10 キュラース白石ビル 6 F
- 2 東北営業本部** 〒980-0022 仙台市青葉区五橋 1-5-3
 - ・ 青森支社 〒030-0113 青森市第二間屋町 3-5-37
 - ・ 岩手支社 〒020-0866 盛岡市本宮 3-36-45
 - ・ 宮城支社 〒980-0022 仙台市青葉区五橋 1-5-3
 - ・ 秋田支社 〒010-0061 秋田市卸町 4-9-1
 - ・ 山形支社 〒990-0023 山形市松波 1-14-14
 - ・ 福島支社 〒963-8861 郡山市鶴見垣 2-18-5
- 3 関東営業本部** 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-45-1
 - ・ 埼玉支社 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-45-1
 - ・ 茨城支社 〒310-0836 水戸市元吉田町 1074-1
 - ・ 栃木支社 〒321-0911 宇都宮市問屋町 3172-10
 - ・ 群馬支社 〒371-0846 前橋市元総社町 527-3
 - ・ 新潟支社 〒950-0885 新潟市東区下木戸 1-18-30
 - ・ 長野支社 〒381-0023 長野市風間 2034-5
 - ・ 山梨支社 〒409-3845 中央市山之神流通団地東 1 番地
- 4 首都圏営業本部** 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-14-6 第 2 リコービル
 - ・ 東京支社 〒104-0061 中央区銀座 6-14-6 第 2 リコービル
 - ・ 西東京支社 〒190-0012 立川市曙町 2-22-20 立川センタービル 2F
 - ・ 千葉支社 〒261-7118 千葉市美浜区中瀬 2-6-1
ワールドビジネスガーデンマリブウエスト 18F
 - ・ 神奈川支社 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 4-6-2
みなとみらいグランドセントラルタワー 5F
- 5 中部営業本部** 〒451-6010 名古屋市中区西牛島町 6-1
 - ・ 愛知支社 〒451-6010 名古屋市中区西牛島町 6-1
 - ・ 静岡支社 〒422-8078 静岡市駿河区さつき町 5-37
 - ・ 三重支社 〒510-0064 四日市市新正 1-12-15
 - ・ 岐阜支社 〒500-8247 岐阜市長森細畑 427
 - ・ 富山支社 〒939-8072 富山市堀川町 313
 - ・ 石川支社 〒920-0031 金沢市広岡 1-13-22
 - ・ 福井支社 〒910-0854 福井市御幸 3-7-15
- 6 関西営業本部** 〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-11-6
 - ・ 京滋支社 〒600-8418 京都市下京区烏丸通松原下ル五条烏丸町 401
オーク烏丸第二ビル
 - ・ 大阪支社 〒540-0029 大阪市中央区本町橋 1-5 本町橋タワー
 - ・ 兵庫支社 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通 1-1-39
 - ・ 四国支社 〒761-8054 高松市東八幡町 9-7
- 7 中国営業本部** 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-33 広島ビジネスタワー
 - ・ 広島支社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-33 広島ビジネスタワー
 - ・ 岡山支社 〒700-0973 岡山市北区下中野 236-6
 - ・ 山口支社 〒754-0028 山口市小郡給領町 1-20
 - ・ 鳥取支社 〒680-0942 鳥取市湖山町東 5-374-7
 - ・ 島根支社 〒690-0038 松江市平成町 182-27
- 8 九州営業本部** 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82
 - ・ 福岡支社 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82
 - ・ 佐賀支社 〒849-0912 佐賀市兵庫町瓦町四本松 1082
 - ・ 長崎支社 〒852-8131 長崎市文教町 11-5
 - ・ 熊本支社 〒861-8501 熊本市東区下南部 3-10-32
 - ・ 大分支社 〒870-0921 大分市萩原 4-8-7
 - ・ 宮崎支社 〒880-0036 宮崎市花ヶ島町大原 2361-1
 - ・ 鹿児島支社 〒892-0833 鹿児島市松原町 7-6
 - ・ 沖縄支社 〒902-0064 那覇市寄宮 1-3-37 NTT 那覇ビル 1F

全国をカバーする277の営業拠点から、お客様の課題に最適なソリューションを迅速にご提供します。

ソリューションの提供と合わせ、導入後も全国377の拠点から、オンサイトサポート体制で、迅速な保守・サポートをご提供します。

※拠点数は、2013年4月現在です。



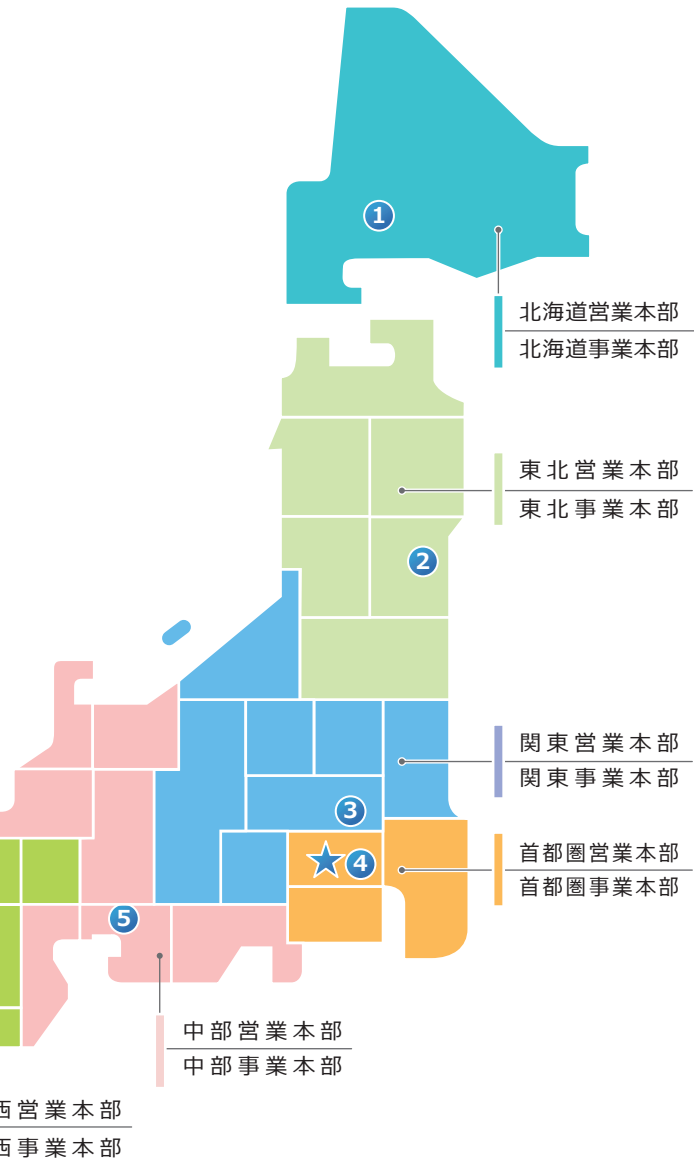
リコービジネスエキスパート (株)

- ・ 本 社 〒210-0024 川崎市川崎区日進町 1-14 キューブ川崎
- ・ 川崎事業所 〒210-0013 川崎市幸区堀川町 66-2 興和川崎西口ビル
- ・ 谷町事業所 〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-11-6
- ・ 江坂事業所 〒564-0053 吹田市江の木町 34-5

リコープロダクションプリントソリューションズ・ジャパン (株)

- ・ 本 社 〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6

全国を幅広くカバーする、国内販売グループの事業拠点をご紹介します。



リコーテクノシステムズ (株)

★ 本社 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 5-20-8 CS タワー
・経営企画本部・サービス事業統括本部・パートナー事業統括本部・技術統括本部 ・PPサービス事業統括本部 ・センターサービス統括本部 (〒104-6033 東京都中央区晴海 1-8-10)
1 北海道事業本部 〒060-0807 札幌市北区北7条西 2-8-1 札幌北ビル
・本部長室・北海道ソリューションサービス統括事業部 ・北海道第1支社 〒060-0807 札幌市北区北七条西 2-8-1 ・北海道第2支社 〒060-0807 札幌市北区北七条西 2-8-1
2 東北事業本部 〒980-0022 仙台市青葉区五橋 1-5-3
・本部長室・東北ソリューションサービス統括事業部 ・宮城支社 〒980-0022 仙台市青葉区五橋 1-5-3 ・南東北支社 〒963-8861 郡山市鶴見坦 2-18-5 ・北東北支社 〒020-0866 盛岡市本宮 3-36-45
3 関東事業本部 〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 1-8-9
・本部長室・関東ソリューションサービス統括事業部 ・埼玉支社 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-45-1 ・茨城支社 〒310-0836 水戸市元吉田町 1074-1 ・北関東支社 〒321-0911 宇都宮市間屋町 3172-10 ・甲信越支社 〒381-0023 長野市風間 2034-5
4 首都圏事業本部 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 5-20-8
・本部長室・首都圏ソリューションサービス統括事業部 ・MA統括支社 〒111-0053 台東区浅草橋 5-20-8 ・東京第1支社 〒163-1190 新宿区西新宿 6-22-1 ・東京第2支社 〒103-0016 中央区日本橋小網町 19-5 ・西東京支社 〒190-0012 立川市曙町 2-22-20 ・千葉支社 〒261-7118 千葉市美浜区中瀬 2-6-1 ・神奈川支社 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 4-6-2
5 中部事業本部 〒451-6009 名古屋市西区牛島町 6-1 名古屋ルーセントタワー
・本部長室 ・愛知支社 〒464-0075 名古屋市千種区内山 2-14-29 ・中部MA支社 〒464-0075 名古屋市千種区内山 2-14-29 ・静岡支社 〒422-8037 静岡市駿河区下島 130-2 ・東海支社 〒500-8247 岐阜市長森細畑 427 ・北陸支社 〒920-0031 金沢市広岡 1-13-22
6 関西事業本部 〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋 1-3-3
・本部長室・関西ソリューションサービス統括事業部 ・関西MA支社 〒540-0029 大阪市中央区本町橋 1-5 ・大阪支社 〒541-0042 大阪市中央区今橋 1-3-3 ・京滋支社 〒600-8418 京都市下京区烏丸通松原下ル五条烏丸町 401 ・兵庫支社 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通 1-1-39 ・四国支社 〒761-8054 高松市東八ヶ町 9-7
7 中国事業本部 〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 3-33
・本部長室 ・広島支社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-33 ・中国東支社 〒700-0973 岡山市北区下中野 236-6 ・中国西支社 〒754-0028 山口市小郡給領町 1-20
8 九州事業本部 〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通 2-1-82
・本部長室 ・九州ソリューションサービス統括事業部 (〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-1-1) ・福岡支社 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 3-3-34 ・九州北支社 〒852-8131 長崎市文教町 11-5 ・九州南支社 〒861-8019 熊本市東区下南部 3-10-32

リコーITソリューションズ (株)

本社事業所 〒104-6042 東京都中央区晴海 1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワー X
・北見事業所 〒090-0013 北見市柏陽町 592-7
・札幌事業所 〒060-0807 札幌市北区北7条西 4-12 ニッセイ MK ビル
・秋田事業所 〒010-0921 秋田市大町 3-5-1 秋田大町ビル
・仙台事業所 〒980-0022 仙台市青葉区五橋 1-5-3 アーバンネット五橋ビル
・新横浜事業所 〒222-8530 横浜市港北区新横浜 3-2-3
・名古屋事業所 〒451-6009 名古屋市西区牛島町 6-1 名古屋ルーセントタワー 9F
・金沢事業所 〒920-0031 金沢市広岡 1-13-22 リコービル 4F
・大阪事業所 〒540-0029 大阪市中央区本町橋 1-5 本町橋タワー
・鳥取事業所 〒680-0911 鳥取市千代水 1-100 アイシン千代水ビル
・広島事業所 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-33 広島ビジネスタワー 13F
・福岡事業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-1-1 博多都ホテル
・鹿児島事業所 〒890-0053 鹿児島市中央町 18-1 南国センタービル

はじめに

CSRの考え方

誠実な企業活動

環境保全

人間尊重

社会貢献

ご紹介

RICOH

imagine. change.

編集・発行 リコージャパン株式会社 リコーテクノシステムズ株式会社 リコー IT ソリューションズ株式会社
<http://www.ricoh-japan.co.jp/> <http://www.r-ts.co.jp/> <http://www.jrits.co.jp/>

リコービジネスエキスパート株式会社 リコープロダクションプリントソリューションズ・ジャパン株式会社
<http://www.rbx.ricoh.co.jp/> <http://www.rpps.j.ricoh.co.jp/>

お問合せ先 リコージャパン株式会社 経営管理本部 シェアドサービスセンター CSR推進室 TEL.03-5835-7081

2013年12月発行